

政治経済学部

# 教養演習要項

2025年度

明治大学

## 1 演習とは!?

演習は、ゼミナールともいい、教員の指導の下、学生が自分の研究テーマを設定し、発表・討論を行う授業形式である。構成員は、通常、少人数の学生（10～20名程度）とひとりの教員である。学生は研究の過程において、資料を収集し、意見を集約の上、授業等を通して研究成果を発表し、議論を展開している。教員は適宜、必要なアドバイスをを行い、学生を指導する。こうした過程を経て、自分の意見を反芻しながら研鑽し、研究成果を論文やレポートにまとめることを目的とした授業である。

政治経済学部では、1・2年生が履修する演習形式の授業として、「教養演習」を設けている。教養演習は、1・2年生が学問的スキルの基本を学ぶとともに、教養を高めることを目的として各演習が開講されている。

## 2 設置科目

入学年度で履修可能な科目が限られているので注意すること。

◆科目名・・・教養演習ⅠA・教養演習ⅡA・教養演習ⅠB・教養演習ⅡB・  
教養演習ⅠC・教養演習ⅡC

## 3 科目区分と単位

	学年学期	科目名称	学年学期	科目名称
半期型 (2単位)	1年次春	教養演習ⅠA	1年次秋	教養演習ⅠB
	2年次春	教養演習ⅡA	2年次秋	教養演習ⅡB
通年型 (4単位)	1年次春・秋	教養演習ⅠC		
	2年次春・秋	教養演習ⅡC		

## 4 履修手続

### (1) ガイダンス・選考試験

履修を希望する演習の初回授業に必ず出席すること。初回授業において、ガイダンスを実施し、一部の演習では、選考試験や事前課題を課す。(開講曜日時限は、裏表紙を参照)

### (2) 履修登録

掲示・ガイダンスで担当教員から履修許可を得た学生は、履修登録期間に履修登録をすること。

### (3) 「教養演習ⅠB」・「教養演習ⅡB」選抜時期

「教養演習ⅠB」・「教養演習ⅡB」は、秋学期開講のため9月の初回授業時に選抜を行う。

## 5 留学における取り扱い

教養演習 I C・II C は通年科目（4 単位）のため、春学期もしくは秋学期に留学する学生は履修することができないが、下記の条件を全て満たす場合には、教養演習 I A・II A（春学期 2 単位）もしくは教養演習 I B・II B（秋学期 2 単位）としての履修を認める。

- 1 春学期初回授業に出席し、担当教員からの履修許可を得る。
- 2 履修許可を得る際に、春学期もしくは秋学期に留学することを伝え、半期のみの履修として履修許可を得る。
- 3 上記 1、2 の履修許可を得た後、所定用紙に担当教員の署名をもらい、政治経済学部事務室まで提出する。（所定用紙は、政治経済学部事務室にて配布）

教養演習担当者一覧表（開講曜日・時限順）

授業科目名	単位数	開講期間	対象学年	曜日	時限	担当教員名	演習テーマ	頁
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	月	2	本間 次彦	『史記』の世界	4
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	月	2	小西 淳文	JICA「課題別指針」や「SDGs」の理解と企画力・政策立案力の育成	5
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	月	2	ベナサリオ・ベルルッキ・アントニオ	Crisis and resilience of liberal democracy	6
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	月	3	遠藤 直樹	可換環論	7
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	月	4	井上 和哉	日韓食文化比較	8
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	月	5	中村 幸一	台湾研究	9
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	1	高橋 聡	文庫・新書を通じて人間と社会を知る	10
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	2	ジョージ, ジョニー E.	Language Mysteries	11 ※
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	3	森本 陽美	スポーツと法学	12
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	3	高峰 修	ジェンダー研究入門	13
教養演習 IC・IIC	2	通年	1・2	水	3	廣部 泉	ブラメリカ(アメリカ合衆国探訪)	14
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	3	嶋田 直哉	舞台芸術の魅力	15
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	3	デヴェラ, ローナヴェリア	Japanese Culture in English for Cross-Cultural Exchanges ～国際異文化交流に向けて英語で日本文化を語る～	16 ※
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	3	平山 茂樹	ダンス・身体・映像	17
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	3	永江 敦	映画を考え、映画で考える	18
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	4	石井 千春	日本近現代文学を読む	19
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	4	堀越 喜晴	クラシック音楽を聴きながら、歴史、時代そして今について考える	20
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	5	針ヶ谷 雅子	環境を考える～ともに生きる社会のつくりかた～	21
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	5	後藤 光将	スポーツを活用した社会課題の解決, スポーツの実践	22
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	水	5	飯嶋 曜子	宮本常一『私の日本地図』を読む	23
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	1	柴崎 文一	プレゼンテーションで世界を変える!～ TEDの世界～	24
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	1	ブルチャー, ミヒヤエル	Political Thought and the History of Modern Japan	25
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	2	田村 久男	ドイツ文化、生活と歴史	26
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	2	海野 素央	ドナルド・トランプ米大統領のリーダーシップスタイルとコミュニケーションスタイル	27
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	3	富澤 成實	夏目漱石と村上春樹を読む	28
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	3	大森 正之	「文系の環境問題スペシャリスト養成」講座	29
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	4	勝 悦子	国際金融と日本経済	30
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	5	羽根 次郎	貧困と周縁社会——ヤクザと革命の生まれ方	31
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	5	武田 紘平	理論と実践から自身の体を知る	32
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	木	5	齋藤 雅己	Economic Affairs(経済事情)	33
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	金	2	宮崎 イキサン	経済指標のwhat and so what	34
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	金	3	佐々木 菜緒	ケベックの「物語」研究	35
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	金	3	金子 隆一	人口とライフコースの変化から視る未来社会	36
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	金	3	アベンハムディヤンセラガ, ニロス チャミンダ	Changing Power Dynamics of Asian Politics	37
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	金	3	森下 正	ベンチャー・中小企業経営研究	38
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	金	3	春日井 淳夫	体力・運動能力・健康度を探る	39
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	金	3	野口 健	町づくりを考えてみよう	40
教養演習 IC・IIC	4	通年	1・2	金	5	永川 聡	現代ドイツ政治談議	41
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	月	2	ヨーク, ジェームズ	ゲームの教育的な可能性について	42
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	月	3	植田 麦	生成AIを活用する	43
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	火	1	樋口 収	社会科学スタディーズ入門	44
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	水	1	兼子 歩	ジェンダーで社会を学ぶ	45
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	水	2	石山 徳子	アメリカ合衆国の社会・文化について考える	46
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	水	2	津田 太郎	世界のニュースを英語で読み、日本語で語る	47
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	水	4	杉田 弘毅	メディアの仕組みとその役割	48
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	木	2	陣野 俊史	サッカーを考え尽くす	49
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	木	5	森本 陽子	『英語漬け、最新学習法習得とイベントを通して留学に備えよう!!』	50 ※
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	金	1	木内 英実	中勘助と宮沢賢治の作品を「抵抗としての児童文学」として読む	51
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	金	2	仮屋 浩子	演劇を介してコミュニケーション力を向上させよう	52
教養演習 IA・IIA	2	春	1・2	金	5	相原 耕作	社会科学スタディーズ入門	53
教養演習 IB・IIB	2	秋	1・2	月	2	ヨーク, ジェームズ	デジタルゲーム制作を通して、プログラミングの基礎を学ぼう	54
教養演習 IB・IIB	2	秋	1・2	月	3	植田 麦	生成AIを活用する	55
教養演習 IB・IIB	2	秋	1・2	水	1	兼子 歩	現代アメリカを考える	56
教養演習 IB・IIB	2	秋	1・2	水	2	牛山 久仁彦	地域社会を考える意義と手法を学ぶ	57
教養演習 IB・IIB	2	秋	1・2	水	2	津田 太郎	Reading about Current Issues in English-language Media	58
教養演習 IB・IIB	2	秋	1・2	木	2	陣野 俊史	サッカーを考え尽くす	59
教養演習 IB・IIB	2	秋	1・2	木	4	山岸 智子	中東の戦争と平和を考える	60
教養演習 IB・IIB	2	秋	1・2	木	5	森本 陽子	『英語漬け、最新学習法習得とイベントを通して留学に備えよう!!』	61 ※
教養演習 IB・IIB	2	秋	1・2	金	5	相原 耕作	社会科学スタディーズ入門	62

※当該授業の修得単位は、一部、ACE 修了要件に含めることができる。詳細は、ACE ガイダンス資料を参照すること。

次に、各演習の関連分野・キーワード・開講曜日時限を記載した一覧表を掲載

教養演習担当者一覧表（分野・ゼミのキーワード）

担当教員名	開講曜日	開講時限	開講期間	分野						ゼミのキーワード														頁						
				政治学系	経済学系	地域行政学系	社会学系	国際文化系	その他	政策	理論	歴史	文化	社会	言語	芸術	健康	スポーツ	科学	数学	情報	国際	環境		リテラシー	ジェンダー	コミュニケーション			
本間 次彦	月	2	通年				●				●	●	●	●																4
小西 淳文	月	2	通年				●			●				●							●	●		●						5
ベナサリオ・ベルルツキ・アントニオ	月	2	通年	●						●				●				●												6
遠藤 直樹	月	3	通年						●										●											7
井上 和哉	月	4	通年					●				●	●	●							●									8
中村 幸一	月	5	通年					●				●	●	●	●						●					●				9
高橋 聡	水	1	通年						●				●	●									●			●				10
ジョージ, ジョニー E.	水	2	通年				●						●	●	●															11
森本 陽美	水	3	通年				●				●			●	●					●					●					12
高峰 修	水	3	通年					●					●	●									●	●	●					13
廣部 泉	水	3	通年					●					●	●	●							●	●							14
嶋田 直哉	水	3	通年					●					●	●																15
デヴェラ, ローナヴェリア	水	3	通年					●					●	●	●						●						●			16
平山 茂樹	水	3	通年					●					●	●																17
永江 敦	水	3	通年					●					●	●	●															18
石井 千春	水	4	通年						●				●	●	●	●														19
堀越 喜晴	水	4	通年						●				●																	20
針ヶ谷 雅子	水	5	通年						●				●	●	●								●				●			21
後藤 光将	水	5	通年					●		●	●	●	●	●						●	●			●	●		●	●		22
飯嶋 曜子	水	5	通年					●				●	●	●																23
柴崎 文一	木	1	通年					●					●								●			●			●			24
ブルチャー, ミヒヤエル	木	1	通年	●							●	●	●	●																25
田村 久男	木	2	通年					●				●	●	●	●	●										●				26
海野 素央	木	2	通年					●					●									●					●			27
富澤 成實	木	3	通年					●				●	●	●	●	●											●			28
大森 正之	木	3	通年		●					●	●		●	●						●			●	●						29
勝 悦子	木	4	通年		●					●	●	●										●								30
羽根 次郎	木	5	通年					●				●		●								●								31
武田 紘平	木	5	通年					●									●	●	●											32
齋藤 雅己	木	5	通年		●					●	●			●								●								33
宮崎 イキサン	金	2	通年		●					●	●													●						34
佐々木 菜緒	金	3	通年					●				●	●	●	●															35
金子 隆一	金	3	通年		●					●		●		●						●	●									36
アベシム・ムディヤンセラグ, ニロス チャミンダ	金	3	通年	●						●	●	●		●							●									37
森下 正	金	3	通年		●					●	●			●							●		●							38
春日井 淳夫	金	3	通年					●									●	●	●								●			39
野口 健	金	3	通年			●							●	●																40
永川 聡	金	5	通年					●				●	●	●																41
ヨーク, ジェームズ	月	2	春					●				●	●	●							●					●				42
植田 麦	月	3	春					●				●		●												●				43
樋口 収	火	1	春				●						●																	44
兼子 歩	水	1	春					●					●	●	●												●			45
石山 徳子	水	2	春					●				●	●	●								●								46
津田 太郎	水	2	春	●						●			●	●								●								47
杉田 弘毅	水	4	春	●						●			●	●	●	●						●	●		●					48
陣野 俊史	木	2	春					●					●																	49
森本 陽子	木	5	春					●						●								●					●			50
木内 英実	金	1	春					●					●	●	●	●														51
仮屋 浩子	金	2	春					●					●	●	●	●									●	●				52
相原 耕作	金	5	春	●							●	●	●	●	●											●	●			53
ヨーク, ジェームズ	月	2	秋					●				●	●	●								●				●				54
植田 麦	月	3	秋					●				●		●												●				55
兼子 歩	水	1	秋					●				●	●	●													●			56
牛山 久仁彦	水	2	秋			●				●	●		●																	57
津田 太郎	水	2	秋	●						●		●		●									●							58
陣野 俊史	木	2	秋					●					●										●							59
山岸 智子	木	4	秋					●		●	●	●	●	●	●	●					●	●				●	●			60
森本 陽子	木	5	秋					●						●								●					●			61
相原 耕作	金	5	秋	●							●	●	●	●											●	●				62

演習テーマ：『史記』の世界

授業内容・授業到達目標：

紀元前の2世紀から1世紀にかけての中国に生きた一人の歴史家、司馬遷を著者とする『史記』は、いろいろな意味で初めてづくしの著作として知られます。

まずそれは、中国において初めて著者の名が明示された歴史書として世に登場しました。もちろん、中国では、それ以前から多くの歴史書が編纂されていましたが、それらの歴史書はあくまで匿名の史官たちによって記述されるものでした。

次にそれは、世界の歴史がはじまって以来の全歴史を記述することを目指したものでした。それ以前の歴史書が、限られた時間と空間の中での歴史記述を前提としていたこととくらべ、その目標は破格なものでした。そして、そのような目標を実現するために『史記』が創始したのが、新たな歴史記述の形式でした。王朝史としての「本紀」、王朝の制度史としての「書」、群雄史としての「世家」、個人史としての「列伝」が、それにあたります。

もう一つつげくわえるなら、世界の空間的な広がりや歴史的な時間の交差するさまを、「年表」という形式で整理してみせたのも、『史記』の独創でした。

『史記』の登場は、その後の歴史記述に決定的な影響をあたえたという意味で一つの事件ともいえるべきものでした。なにより、それは、この二千年来、数多くの読者を魅了するテキストでした。その魅力の源泉を探ること、項羽と劉邦の物語にとどまらない『史記』の世界の奥行きを探訪することを、この演習では目指したいと思います。

教科書・使用教材：

随時プリントを配布します。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

中国の伝統文化に対し関心をもち、かつ、『史記』についても相応の興味をもっている方であれば、どなたでも歓迎します（『史記』の原文を直接読むわけではないので、その点は、ご心配なく）。

武田泰淳『司馬遷 史記の世界』をできれば一読して（おいて）ください。

毎回の授業には、前回までに配布した資料を再読して臨んでください。

成績評価方法：

授業時発表60%、課題提出40%

教員の研究分野…中国前近代思想

募集人員…10名程度

募集方法…ガイダンスの際に説明します。なお、ガイダンスの際には、志望理由をあらかじめ200字程度にまとめて持参してください（様式は自由でかまいません）。

政経教養セミナー投稿 2023年度 有・2024年度 有



演習テーマ：JICA「課題別指針」や「SDGs」の理解と企画力・政策立案力の育成

授業内容・授業到達目標：

【春学期】

- (1) 日本の政府開発援助を担う JICA が策定している課題分野ごとの「課題別指針」や「グローバル・アジェンダ」と、国連の開発目標である「SDGs」を理解し、それぞれの課題を抱える開発途上国の現状を確認した後に、どのような援助プロジェクトを策定し、実施すれば良いか、企画書の第一次案を各自単独で取りまとめる
- (2) 次に、グループ(3～4名程度)で意見交換し、グループとしての企画書を完成させた後に、受講生全体で討議する。
- (3) その後、各グループが作成した企画書を JICA が実施したプロジェクトと比較し、さらにブラッシュアップすることにより、各自の企画力を向上させることが目標。  
各課題について、概ね2～3回1セットの演習になります。

- 1 回目 JICA 課題別指針と SDGs について
- 2～4 回目 SDGs4 「基礎教育」(エチオピア)
- 5～7 回目 SDGs3 「母子保健」(セネガル)
- 8～9 回目 SDGs7 「水資源」(セネガル)
- 10～11 回目 SDGs14 「水産」(セネガル)
- 12～14 回目 SDGs1 「貧困削減」(ミャンマー)

【秋学期】

- (1) 開発途上国のみならず、日本や国際社会全体が抱えている各課題(SDGs)について、現状を確認した後に、適切な政策の素案を各自単独で取りまとめる。
  - (2) 次に、グループ(3～4名程度)で意見交換し、グループとしての政策提案書を完成させた後に、受講生全体で討議し、必要となる修正を加える。
  - (3) 各自の政策立案力を向上させることが目標。  
各課題について、概ね2～3回1セットの演習になります。
- 1～3 回目 SDGs 1 「貧困削減」(日本)
  - 4～6 回目 SDGs 5 「ジェンダーと開発」(南スーダン)、(日本)
  - 7～9 回目 SDGs 13 「気候変動対策」(世界)
  - 10～12 回目 SDGs 12 「廃棄物管理」(世界)
  - 13～14 回目 SDGs 11 「都市開発」(セネガル)、(マレーシア)、(日本)

教科書・使用教材：

授業では講師が作成した独自資料のもとに授業を進めます。参考資料は次の通りです。  
事業・プロジェクト - JICA <https://www.jica.go.jp/activities/index.html>

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

復習として、「国際協力機構ホームページ」→「研究者の方の欄」→「JICA 図書館ポータルサイト」  
→「JICA 報告書・図書・雑誌」にアクセスし、理解を深めてください。関連情報が数多くあります。  
JICA 図書館ポータルサイト <https://libportal.jica.go.jp/library/public/Index.html>

成績評価方法：

企画書の評価(10%×5=50%)  
政策提案書の評価(10%×5=50%)

教員の研究分野…開発経済学(開発経済学の潮流と援助戦略の変遷)

開発経済学(持続可能な開発-成長と環境の調和-)

(注) 担当教員は JICA 役職員として勤務した 29 年間、開発途上国支援についてその計画策定と実施監理、評価を担ったほか、外務事務官、外交官(特命全権大使を含む)としての 7 年間の勤務経験あり。また、業務の傍ら 3 冊の書籍を出版。

募集人員…15 名程度

募集方法…抽選

政経教養セミナー投稿 2023 年度 無・2024 年度 無

演習テーマ：Crisis and resilience of liberal democracy

授業内容・授業到達目標：

Liberal democracy is undergoing a profound crisis. Economic stagnation, rising inequality, and unemployment have deepened the divide between the winners and losers of globalization, intensifying social divisions and polarization. Meanwhile, additional shocks such as mass migration and terrorism have fueled widespread dissatisfaction with the liberal democratic model, paving the way for the rise of authoritarian and populist forces.

Against this backdrop, as Western powers struggle to retain their economic and moral authority, alternative governance models are gaining traction globally. The growing influence of authoritarian systems, exemplified by China and Russia, has further eroded confidence in the ideals of Western liberal democracy.

This course explores the key themes, challenges, and transformations faced by Western democracies in this turbulent era. By examining key topics such as elections, public opinion trends, political parties, leadership styles, and the quality of democracy, we will critically analyze how Western democracies adapt to and resist contemporary challenges.

Weekly readings, including news articles and academic papers, will be made available via Oh-o! Meiji. These materials will serve as the foundation for class discussions, where students will exchange ideas and insights about the course topics.

教科書・使用教材：

There is no specific textbook for this course. Weekly readings will be made available on the Oh-o! Meiji learning platform.

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

Students are expected to thoroughly review the assigned materials on their own before each class. Classes will include individual and group presentations based on the readings, followed by in-class discussions or group activities where active participation is essential. Additionally, students will occasionally present on their personal research topics to contribute to a broader understanding of the subject matter.

成績評価方法：

Class participation: 50%

Presentations (Individual or Group): 25%

Report(s): 25%

教員の研究分野…Comparative Politics, Elections and Voting Behavior
募集人員…20
募集方法…Free access. English proficiency is required for this course.
政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無



専任講師 遠藤 直樹 月曜3時限(通年)

担当科目：線形代数学I、II、III、IV、解析学I、II、基礎数学、数学概論

### 演習テーマ：可換環論

#### 授業内容・授業到達目標：

本演習では、高校数学とは少し毛色の異なる数学である「可換環論」を扱う。可換環論とは、数や関数などの集合のように加減乗除という四則のうち加減乗を自由に行うことができる世界の構造を、主にこれら3つの演算を手掛かりに統一的に理解し、解析しようとする数学である。例えば、整数全体から成る集合や有理数全体から成る集合、実数全体から成る集合、複素数全体から成る集合は典型的な可換環である。その他、多項式全体の成す集合や閉区間上で定義される実数値連続関数全体の成す集合なども可換環の構造を持つ。このような数学的構造は整数論や解析学では自明に付与されるが、数理学の世界で様々な場面に共通に現れる「可換環」という構造を抽出し、現象のある部分を統一的に理解し、得られる情報を提供することが可換環論の使命である。可換環論を学べば、負の数と負の数の積が正の数になる事実や多項式に現れる変数、また虚数単位が如何なる存在であるかを理解することができる。

本演習は輪講形式で行う。輪講とは、1つのテキストを複数人のグループで読み解いていく勉強法のこと、数学では標準的な方法である。順番に発表者を決め、当番の人の説明にそれ以外の参加者が質問やコメントをしながら演習を進める。

#### 教科書・使用教材：

後藤四郎 著『可換環論の勘どころ(数学のかんどころ 32)』共立出版

#### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

必ず予習・復習をすること。特に輪講形式で演習を進めるため、予習は不可欠であり、また発表用のノート作成は必須である。基礎数学及び線形代数学Iを合わせて履修することが望ましく、集合や写像、同値関係に対する理解が必要である。

#### 成績評価方法：

発表内容100%で評価する。

教員の研究分野…代数学

募集人員…5名程度以下

募集方法…初回授業で決定する。希望者多数の場合は面接により選考する。

政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 無

### 演習テーマ：日韓食文化比較

#### 授業内容・授業到達目標：

このゼミの目標は日本と韓国の食文化における共通点や相違点を探り、日韓両文化の理解を深めていくことです。食にはその土地の文化が詰まっています。ぜひ詳しく調べてみることにチャレンジしてみましょう。

年間計画について記します。調査や発表などは三人一組で行ってまいります。各グループが初めに取り組むことは調査テーマの選定です。食文化というと、食材や料理を思い浮かべますが、食器や作法など食に関わること全般が含まれます。

テーマの一例を紹介しておきましょう。日本と韓国の主食は米です。しかしながら、韓国で外食をすると、ご飯が盛られてくる器が日本とは異なります。ステンレス製の蓋付き茶碗(밥공기:パブコンギ)です。しかもだいたいどの店も同じ量。なぜでしょう。関心を持ったかたは「外食と茶碗」というテーマで調べてみるとよいです。実は「漢江の奇跡」が関係しています。

さて、テーマ決定後は書籍やインターネットを使ってテーマについて調べていきます。その結果を前期中に発表してもらおうこととなります。このとき、発表内容を事前に告知し、他の学生にも質問などの準備をしてまいります。

夏休み中にはフィールドワークを実施します。その結果と前期に行った調査との同異を後期に発表してもらおう予定です。そして最後にテーマに関してのグループの結論を政経教養セミナーに執筆し、一年の終了となります。

#### 教科書・使用教材：

教科書は指定しないが、随時推薦していく。

#### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

受け身にならず、積極的にリサーチに取り組んでくれる受講者を希望します。

受講者は自分の計画実行力を向上させる意識を強く持ってゼミに参加してください。

#### 成績評価方法：

発表内容(50%)、教養セミナーの執筆内容(50%)。

教員の研究分野…言語学

募集人員…9～12名

募集方法…エントリーシートの提出

政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 有

演習テーマ：台湾研究

授業内容・授業到達目標：

台湾と聞いて何を考えるだろうか。

タピオカミルクティー（珍珠奶茶）、魯肉飯、親日的、という感じかもしれない。たしかに他国に比べ、総じて親日的なのは事実だが、日本に関心がない、あるいは親日でない台湾人はいくらでもいる（ところが彼らの父母、祖父母の世代は、本省人の場合、日本語を知っていることが多い）。現実の台湾は複雑極まる社会で、日本とはなにもかも真逆である。まず、歴史的に何層も重なる他民族国家で、言語も、台湾語、客家語、台湾華語、原住民語、「新移民」の言語（インドネシア語など）と多様である。「国語」は通じるけれども、台湾華語（＝「国語」）とは、発音、声調、語彙は、微妙に、というより、かなり違う（そもそも拼音（ローマ字表記）は使われない：ㄊㄞˋㄇㄠˊ＝臺灣、という具合に「注音符號」を使う）。MRT（捷運）の駅名などは、4、5ヶ国語でアナウンスされている。また大学のテキストは英語で書かれたものが多い。知識人はほとんどすべて英語圏に留学している。「總統」は国民が自ら投票で選出できる。民主主義指数はアジアでトップである。世界だと10位、日本は16位だから、日本よりも民主的なのだ。2020年の総統選挙の投票率は7割、日本と真逆で、若者ほど熱心であり、9割近かった。同性婚もアジアで初、2019年に合法化された。日本の殖民統治が50年あったために、日本文化の影響も受けてはいるが、すべてがガラパゴスの日本とは、なにかから何までまったく違う。こういう、近くて（往路3時間20分、復路2時間40分）、遠い台湾の政治、文化、社会、歴史、宗教、風習をより深く知り、理解することがこの演習の目的である。箸休め的に、すこし台湾華語の練習をするかもしれない。

教科書・使用教材：

野島剛『台湾とはなにか』ちくま新書。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

台湾にポジティブで強い関心があること。

成績評価方法：

発表の際のレジュメ、話の内容で評価する。

教員の研究分野…台湾文化研究、比較言語学

募集人員…5人

募集方法…人数が多ければ、初回授業の際、面接を行う。

政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 無

**演習テーマ：文庫・新書を通じて人間と社会を知る**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習では読書会を実践します。第1の目標は、比較的安価な新書・文庫または同価格帯の単行本を読むことで読書習慣をつくり、読む・語る・書くという大学&社会生活で必要となる学びの基本スキルを身に着けることにあります。第2の目標は知的コミュニティの形成です。せっかく大学に入学したのだから、遊び友達だけでなく知的交流のできる人間関係もつくって卒業してほしいと願っています。本を読んでも、読後に語りあい、文章を書くという場は、ほとんどの人がこれまで経験したことがないと思います。

教員と学生の推薦書を交互に読みます。最初は、玉手慎太郎『ジョン・ロールズ』講談社、秦正樹『陰謀論』中公新書、牧野雅彦『ハンナ・アレント』講談社のいずれかを取り上げます。小説や詩などもできれば読みたいと考えます。具体的な授業内容は、読む→問題を立てる→議論する→メモをとる→レビュー執筆(1600字程度)のサイクルを進める予定です。このほかプレゼンやZINE(同人誌)での発信も試みます。

**教科書・使用教材：**

書籍を各自購入すること。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

- ① 1冊を2～3回で終えるのでしかるべき読書時間を必ず確保すること。
- ② 自分から発言しないと何もない時間が過ぎて終わる。発言、メモづくりなどで議論の場や雰囲気づくりに貢献ができるかどうかを履修前に考えてほしい。

**成績評価方法：**

1. 1600字のブック・レビューを年間4～5回(75～80%)
2. 発言・メモづくりなど授業への貢献度(20～25%)

教員の研究分野…資本主義経済の研究

募集人員…10名程度

募集方法…エントリーシートで選抜する。提出メアドは4月1日以降オーマイジに公表する。初回の前日火曜日12:00(昼)がしめきり。WordA4紙1～2枚程度に以下の項目を書くこと。①氏名、②学年・組、③住所・メアド(PC)、④出身校、⑤サークル・バイト(新入生は予定)、⑥自己PR:性格・趣味・特技、高校または大学で何をやってきたか、大学で何を学んでみたいかなど。⑦おすすめの本とその概要、気に入った文章など。

政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 無

准教授 ジョージ, ジョニー E. 水曜2時限 (通年)

担当科目 : 英語、ACE、専門演習

演習テーマ : Language Mysteries

授業内容・授業到達目標 :

Language is an important tool we all use in our daily lives. We will go on a roundabout tour of language concepts through the lens of sociolinguistics, and consider questions such as: What is the relationship between culture and language? Do Japanese and English speakers really communicate differently? What happens if a child begins life without language? How do first language and second language acquisition differ? How does an artificial language differ from a natural language?

We will use various media to explore language. You will have discussions in groups and as a class. You will lead the class on linguistic related topics of your choice. You will learn Toki Pona.

The primary aims of this course are for you to:

1. Improve your ability to comprehend English texts
2. Think critically about various social issues
3. Discuss and exchange ideas with your peers

教科書・使用教材 :

No text. Materials distributed to the class.

受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :

Applicants should have the confidence to speak or read in English. The class will be decided based on a self-introduction and a short writing response.

応募者は、英語で話すまたは読む自信を持っている必要があります。クラスは、自己紹介と短いライティング応答に基づいて決定されます。

(留学生の場合、特定の条件を満たす場合には、教養演習 A/B として1学期間のみの履修が認められます。詳細については政経学部の事務室までお問い合わせください。)

成績評価方法 :

Participation 30% Quizzes 20% Short writing 20% Leading class discussion 30%

This class can be taken for 2 ACE credits.

2単位分については「ACE 修了 要件」の一部として読み替え可能とする。

教員の研究分野…社会言語学

募集人員…12人

募集方法…初回のガイダンス時に決定

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：スポーツと法学**

**授業内容・授業到達目標：**

スポーツは健康の維持・増進、健全な精神の育成のため社会的に認められた有意義な活動である。しかし、万全の注意を払っても事故の発生する場合もある。このような事故の法的処遇として、刑事上は違法性が阻却され罪に問われないことが多い。一方、民事上は損害賠償が問題となるが、実際には「危険の引受」・「過失相殺」法理などを用いて加害者・被害者の行為と責任のバランスを考えた上での解決が図られる。

スポーツ界固有の法的紛争解決機関として、1984年に国際オリンピック委員会によりスポーツ仲裁裁判所（CAS: Court of Arbitration for Sport）が設立された。オリンピック選手や理事の選考基準、ドーピング問題等をスポーツ界で審理し解決することを目的とした一審制の仲裁機関である。

国内においては、2003年に日本スポーツ仲裁機構が設立され、CASを用いるより時間・労力・金銭を節約しつつ問題解決が図れるようになった。

東京オリンピック招致をめぐる誘致の関係者、電通や博報堂のスポーツビジネスの腐敗が刑事事件となっている。スポーツ競技は巨万の富を生み出すが故に生じる贈収賄や詐欺等の犯罪である。本ゼミにおいては、国内外の提訴された様々な事案から、訴えの理由や係争点、判決・仲裁内容等を検討したい。また、スポーツに関わる諸問題のうち、国家の刑罰権を用いる必要があるほどの深刻な犯罪行為についても検討したい。

**教科書・使用教材：**

大阪弁護士会編『スポーツ法相談ハンドブック』2024年

井上典之著『スポーツを法的に考えるⅠ』2021年

静岡県弁護士会著『裁判例からわかる スポーツ事故の法律実務』2020年等

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

スポーツ法学は近年とくに注目されており、その範囲は多岐にわたり色々な学問分野と関連があります。ですから、独創性と積極性のある学生を求めます。専門的知識よりも好奇心と広い視野が必要とされます。日頃からの準備としては、スポーツに関わる紛争に加えて、日常の裁判記事や社会問題を注意深く見ていく態度を持ちましょう。

**成績評価方法：**

授業時課題60%、発言内容20%、演習への貢献20%

教員の研究分野…法律

募集人員…15-20名

募集方法…入室希望者が多い場合は、ガイダンス出席者の中から選考

政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 無



教授 高峰 修 水曜3時限(通年)

担当科目：運動学演習、ジェンダー論Ⅰ、身体文化論、専門演習

### 演習テーマ：ジェンダー研究入門

#### 授業内容・授業到達目標：

このゼミではジェンダー研究やフェミニズムの基礎知識について理解を深め、それに基づき身の周りや社会で起こっている事象を解釈できるようになることを目標とします。そのためにジェンダーやセクシュアリティ、あるいはフェミニズムについて読み、調べ、考え、生産するという一連のアカデミックな作業を体験します。

ジェンダーやフェミニズムという言葉は最近でこそ日常的に使われるようになりましたが、しかしその理解は表層的なものであったり、場合によっては勘違いであったりします。それらについての理解を深めることは、政治経済学を学ぶ学生としての今後の学業、また一人の成人としての今後の人生に大いに役立つことでしょう。

原則として「ジェンダー論Ⅰ」を履修していること(すでに単位取得済み、あるいは2025年度に履修中)を前提にゼミを展開します。いずれも適わない場合は2025年度春学期の授業動画を各自で視聴するという条件で受講できます。春学期は基本文献の輪読ならびに作業、ディベート、映画鑑賞を通じてジェンダー論やフェミニズムの基礎知識を身につけます。秋学期には各自でテーマを設定し、それについてある程度まとまった分量のゼミ論文を作成します。いずれもゼミ時間以外に各自で、あるいはグループで作業を行う必要があります。

#### 教科書・使用教材：

『アクティブラーニングで学ぶジェンダー』青野篤子編著(ミネルヴァ書房, 2016年)

2,800円+税

#### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

原則として「ジェンダー論Ⅰ」をすでに単位取得済み、あるいは2025年度春学期に履修中であることを前提にゼミを展開します。いずれも適わない場合は2025年度春学期の授業動画を各自で視聴するという条件で受講できます。春学期と秋学期いずれの作業もゼミ時間以外に各自で、あるいはグループで行う必要があります。受講生との相談によりゼミ合宿等を行う場合があります。

#### 成績評価方法：

ゼミ活動への参加および貢献度40%、課題達成度20%、ゼミ論文の評価40%

教員の研究分野…体育・スポーツ社会学、ジェンダー研究

募集人員…最大12名

募集方法…エントリーシートとレポート、面接による(応募人数によって変更の可能性あり)

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 有

**演習テーマ：ブラメリカ（アメリカ合衆国探訪）**

**授業内容・授業到達目標：**

アメリカを（バーチャルにですが）ブラブラします。ブラブラしながらアメリカの地理や歴史について学びます。

授業の内容は、受講生の顔ぶれを見て決めますが、大体以下の通りです。

春学期は、アメリカを研究する上で基本的な事項（政治の仕組みや社会の特徴など）を学ぶと同時に、今のアメリカが抱えている問題（銃の問題や宗教の問題）をいくつか取り上げて検討します。ゼミ形式の授業ですので、個々のテーマについて調べて皆さんに発表していただきながら進めます。理解を深めるために映像資料やドキュメンタリーを視聴していただくこともあります。

秋学期前半は、春学期の学習を踏まえて、各人がアメリカの都市や地域を選び、それについてリサーチして発表します。そして、報告者が中心となってそのテーマについてクラス全体で議論します。発表においてお願いしたいのは、発表者は各自が自ら問い（とい）を立て、その答えを導いていくという発表のスタイルをとってほしいということです。問（とい）の例としては、「なぜディズニelandは人を惹きつけ続けるのか?」、「なぜグランドキャニオンの絶景は今も人を楽しませてくれるのか?」、「なぜニューヨークは多様性豊かな世界経済の中心であり続けているのか?」、「なぜ LGBTQ の人はサンフランシスコに集うのか?」、「観光地ホノルルの光と闇」など様々なものが考えられます。問いは、なるべく「なぜ」で始まる形にして、一見当たり前に見えて、しかし発表が進むにつれて、その意外性や深さがあらわれてくるようなものが望ましいです。ただ、そういわれてもわかりにくいと思いますので、授業内でこちらが期待している発表像についても説明します。よい問いにたどり着くにはそれなりの学びが必要です。よい問いを見つけることができれば、課題は半分以上終わったといえるほどです。秋学期後半は、自分の発表と他の報告者の発表を比べて反省点をあぶりだしたうえで、別の都市や地域を選んで改善された報告をしていただきます。

発表準備や人の発表を聞いて議論する過程で、アメリカに関する資料に親しむと共に、現代アメリカ社会に対する理解が深まるはずで、また、少人数によるゼミ形式の授業に慣れることも目指します。

**教科書・使用教材：**

初回（受講希望者が定員をこえた場合は二回目以降）の授業で紹介します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

アメリカを好きな人も嫌いな人も歓迎します。ただ、アメリカにまったく関心のない人は辛いと感じるかもしれません。自分の名前を呼ばれたら「はい」と返事のできる人を優遇します。

**成績評価方法：**

演習への貢献度100%（授業時間内の発表50%、授業時間中の発言50%）

教員の研究分野…アメリカ研究

募集人員…15人前後

募集方法…受講希望者多数の場合は、初回授業において選抜しますので、受講希望者は仮登録を行ったうえで必ず初回に参加してください。

政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 無

### 演習テーマ：舞台芸術の魅力

#### 授業内容・授業到達目標：

舞台芸術を鑑賞し、感想や意見を語り合う。

演習テーマでいう「舞台芸術」の対象ジャンルはストレートプレイ(普通の演劇)、ミュージカル(宝塚歌劇団・劇団四季など)、ダンス、日本舞踊、舞踏、オペラ、バレエ、能、狂言、歌舞伎、文楽、伝統芸能、郷土芸能、人形劇など舞台上で鑑賞できる芸術作品を指す(映画作品、J-POP、K-POP、お笑いやコント、スポーツ競技は除く)。なおミュージカル映画作品は本演習の中心的な検討対象ではない。各自がそれらを鑑賞した経験をもとに受講生の前で自身が感じた魅力を存分に語って欲しい。

授業では鑑賞した舞台芸術のデータ、具体的な舞台映像(Blu-ray & DVD、YouTubeなど)、それらについての説明を受講生が口頭発表し、その後、全体で質疑応答を行う。この作業を経ることで単に「おもしろい」「すごい」といった率直な感想から、批評的な言語を獲得し、「舞台芸術」に対する印象を理論的に語れるようになる。パワポ、紙媒体など発表の形式は一切問わない。舞台芸術への愛情が全てである。

これまでに以下の発表があった。

劇団☆新感線の魅力／学生演劇について／宝塚歌劇団について／宝塚歌劇団のファンについて／バレエの魅力／2.5次元ミュージカルの世界／「エリザベート」の魅力／劇団四季の世界／歌舞伎の世界／「キャッツ」の素晴らしさ／オペラ「アイダ」の演出／三谷幸喜のコメディ／「DREAM BOYS」の世界など

受講生が自身の感性を磨くことはもとより、他の受講生の発表を通して多くの舞台芸術に触れ、多様な価値観を理解し、さらなる挑発の〈ステージ〉へ導かれることを期待している。

#### 教科書・使用教材：

授業中に適宜指示する。

#### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

舞台芸術の鑑賞に意欲的であること。授業に積極的に参加すること。他者の価値観を尊重すること。人として礼儀正しくあること。休まないこと。体調管理をしっかりとすること。内職、居眠りは許さない。

春学期と秋学期にそれぞれ1回(年間2回)の発表と毎時間の発言を求める。知らない分野でも臆することなく発言すること。

また日頃より劇場などに足を運び多くの舞台芸術に触れること。

#### 成績評価方法：

発表内容30%、各学期末レポート50%、演習への貢献度20%

教員の研究分野…日本近代文学、現代演劇批評、国語科教育法

募集人員…20名程度

募集方法…初回授業時に選考を行う。履修希望者は必ず出席のこと。初回授業欠席の場合は履修することができない。

政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 無

特任講師 デヴェラ, ローナヴェリア 水曜3時限(通年)

担当科目: ACE、留学基礎講座、留学準備講座

演習テーマ: Japanese Culture in English for Cross-Cultural Exchanges

～国際異文化交流に向けて英語で日本文化を語る～

授業内容・授業到達目標:

This seminar class offers Seikei students to study Japanese culture in English. It is based on my experiences with university classes conducted in English and actual cross-cultural exchanges between Japanese and overseas students. When Seikei students were asked questions about Japanese culture or current events, I sometimes encountered situations in which conversations were awkward or students were at a loss for answers. I realized there was a need for students to receive English instruction that would enable them to exchange opinions and discuss cultural topics in English.

This seminar has thus been designed with two specific objectives. The first is to enable students to speak confidently about their own culture and current affairs in English. The second is for them to think positively about Japanese and deepen their knowledge of it so that they can apply it in international and intercultural exchanges with English speakers and study abroad programs. In class, we discuss and exchange opinions on various aspects of Japanese culture, and students relate these to their own experiences, feelings, and thoughts as Japanese. They will be able to explain about life in Japan to English speakers, share about their values and beliefs, and learn to broaden their worldview by comparing and contrasting these with the thoughts of people from other countries.

Students will learn to engage in deeper and more meaningful discussions about Japanese culture while developing cultural sensitivity and literacy, as well as honing their communication and critical thinking skills. The course also offers Seikei students a valuable opportunity to explore ways to introduce Japanese culture to English speakers. As part of the seminar assignments, students will plan and carry out activities both in and outside of class and includes options such as sightseeing trips, overnight study tours, and exchanges with foreigners. In addition, through talks and visitor sessions, there will be opportunities for students to listen to guest speakers from Japan and overseas.

本演習は、政治経済学部の学生に英語で日本文化を学ぶ機会を提供します。私が見てきた英語で行われる大学の授業や日本人学生と留学生の実際の異文化交流の経験に基づいて考案しました。日本人学生が日本の文化や時事問題について質問された際、会話が途絶えたり回答に窮したりする場面に遭遇することがありました。学生が文化的なトピックについて英語で意見交換や議論ができるような英語指導を受ける必要性を痛感しました。

この演習は具体的には2つの目的があります。一つ目は、政経の学生が日本文化や時事問題について自信を持って英語で話せるようになることです。もう一つは、自国の文化について積極的に考え、その知識を深めることで、英語話者との国際異文化交流や留学プログラムに生かすことができるようにすることです。日本文化の様々な側面について話し合い、意見を交換し、履修者がそれを日本人としての自分自身の経験、感情、考えと関連づけます。日本での生活について英語話者に説明するようにでき、自分の価値観や信念を共有し、これらを他の国の人々の考えと比較対照することで世界観を広げることを学びます。文化的感受性と文化リテラシーを養いながら、日本文化についてより深く有意義なディスカッションをすることを学び、コミュニケーション能力と批判的思考力を磨きます。

政治経済学部生たちに貴重機会を提供したいと思いますが、英語圏の人々に日本文化を紹介する方法を探る機会も学生に提供しており、ゼミの課題として、履修者は授業内外の活動を計画し、実施します。これには、名所巡り、スタディツアー(宿泊研修旅行)、外国人との交流会など授業活動も選択肢に入れます。また、講演やビジュアラーセッションを通じて、国内外のゲストスピーカーの話を聞く場を作っていきます。

教科書・使用教材:

There is no set textbook for this course. Handouts will also be given out in the course of the semester.

受講希望者に対する希望:

This seminar is ideal for students who are serious about pursuing study abroad or are interested in international and intercultural exchange and enjoy sharing about Japanese culture. Class discussions will be primarily in English so students need to have a level sufficient enough to follow discussions and class content. Students are expected to attend classes regularly and to prepare for and participate actively in discussions and all class activities. They must not be shy to speak up or to ask questions and have a cooperative attitude, willing to work with other class members and exchange ideas and help create a mutually supportive class environment.

成績評価方法:

Attendance and class participation (30%), contribution in discussions and activities (50%), and written assignments and homework (20%)

教員の研究分野…外国語教育、日本語教育、教授法、コミュニケーション

募集人員…10～12名程度

募集方法…本演習では使用言語として英語と日本語の両方を用いますが、できればTOEIC 520点以上、ACE科目、留学準備講座、そしてトップスクールセミナーを少なくとも履修登録していることが最低限です。初回授業にTOEICスコア、ACEエントリーシート等の必要な関係書類を持参してください。当時ガイダンスを行い、自己紹介と簡単な文章題を書いてもらいます。それと英語・日本語で面接により決定することもあります。

政経教養セミナー投稿 2023年度 有・2024年度 無

**演習テーマ：ダンス・身体・映像**

**授業内容・授業到達目標：**

生まれてこのかた踊ったことがない、という人はまずいないでしょう。高校時代は踊っていた人も多いようです。大学に入ったのでダンスはもう卒業、と思う人、卒業するのは少し早すぎるかもしれません。まだ見たことがないダンスの世界が広がっています。「こんなことができるのか!」と驚かされるものから、「これもダンスなの?」といぶかしく思うものまで多様な世界です。

このゼミの目標は、さまざまなダンスを見て、興味の幅を広げていくことです。とはいえさまざまなダンスを見尽くすことはできないので、今年はコンテンポラリーダンスとバレエの関連を中心にみていく予定です。

さらにダンサーをゲストに招いて、体を動かす予定です。昨年度は森下真樹さん(コンテンポラリーダンス)、伊藤キムさん(フィジカルシアターカンパニーGERO主宰・舞踏)にワークショップを開いていただきました。

**教科書・使用教材：**

『舞台の見方がまるごとわかる 実例解説! コンテンポラリー・ダンス入門』乗越たかお著(新書館 1,100円) 電子出版なので、授業にパソコン、タブレットなどを持ってこなければなりません。

そのほか様々な映像を用いて、様々なダンスに触れてもらいます。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

全くダンス・バレエを見たことがない、踊ったことがない、という人を歓迎しています。

準備学習として、教科書の内容や、それに登場する人物や用語について調べて、発表してもらいます。

また参加者全員で、各学期に各1回ずつダンスの公演を見に行く予定です。基本的には、ワークショップを開いてくださるダンサーの公演を見に行きます。

また各学期にそれぞれ少なくとも1回、自分でプロのダンスの公演を探して見に行き、さらにレポートを書いてもらいます。

**成績評価方法：**

発表内容30%、学期末レポート30%、演習への貢献度40%

また指定されたダンスの公演を見に行くのが、単位修得の条件です。ダンスの公演は週末(金曜夜、土、日)に開かれることが多いので注意して下さい。

教員の研究分野…ヘーゲルなど18,9世紀のドイツの哲学

募集人員…8名程度

募集方法…自己紹介とこの演習に対して希望することを書いてもらって、それを参考に履修者を決めます。

政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 無



**演習テーマ：映画を考え、映画で考える**

**授業内容・授業到達目標：**

映画を見ることは、面白くて楽しいことであるばかりか、いろいろな意味でとても勉強にもなる。人生や歴史、人々の暮らしや喜怒哀楽が、具体的な映像を通じて、直接、見る者に訴えかけてくるからである。

ただ、映画を見るには、一種の「文法」みたいなものがある、それを心得て見ると、一層、作品を深く理解することができる。

初めのうちは、古典的な名作を見ることで、映画の見方と基本的な知識を身に着ける。

その後は、自然・人間・青春・家族・戦争などのテーマに即した作品を見て発表や議論をしながら展開していきたい。

週末や夏合宿では、作品所縁（ゆかり）の場所を散策するのもよいだろう。

年間、最低、100本の映画作品を見ることにしよう。

以下が、最初に見るべき「古典的名作12作」（製作年代順）である。

『荒野の決闘』（1946年・米・J.フォード監督）／『東京物語』（1953年・小津安二郎監督）／『七人の侍』（1954年・黒澤明監督）／『山椒大夫』（1954年・溝口健二監督）／『ゴジラ』（1954年・本多猪四郎監督）／『道』（1954年・伊・フェリーニ監督）／『二十四の瞳』（1954年・木下恵介監督）／『大人は判ってくれない』（1959年・仏・トリュフォー監督）／『太陽がいっぱい』（1960年・仏・R.クレマン監督）／『用心棒』（1961年・黒澤明監督）／『破戒』（1962年・市川崑監督）／『男はつらいよ』（1969年・山田洋次監督）

**教科書・使用教材：**

映像教材については、できるだけ、無料で見られるように手配するが、それ以外は、大学のライブラリーやネットレンタルを活用する。

参考文献：『黒澤明が選んだ100本の映画』（文春新書）。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

可能であれば、「国際文化特殊講義」を履修してほしい。

**成績評価方法：**

授業への参加度（発表など）50%、レポート50%。

教員の研究分野…英文学

募集人員…12名程度

募集方法…最初の授業で選考する（筆記試験）

政経教養セミナー投稿 2023年度 有・2024年度 有



---

---

演習テーマ：日本近現代文学を読む

授業内容・授業到達目標：

明治から現代までの短編・中編小説を読む。予定している作家は、夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介、太宰治、内田百閒、三島由紀夫、吉行淳之介、村上春樹など。作品の時代背景、作家の生涯なども考えながら読んでゆきたい。

希望者には、小論の指導を行う。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

作品は必ず読んでくること。感想をメモしておく。

成績評価方法：

授業に熱心に取り組んでいる学生を評価する。

教員の研究分野…日本の近代

募集人員…7名前後

募集方法…簡単なレポート（人数オーバーの場合のみ）

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 有

演習テーマ：クラシック音楽を聴きながら、歴史、時代そして今について考える

授業内容・授業到達目標：

芸術はしばしば言葉以上に雄弁に、また深く、思想や心情、またその時代を表現する。本ゼミでは、芸術の内特にいわゆるクラシック音楽を中心に作品を観賞し、その背景にあると考えられる思想や文化、哲学、時代、宗教、また関連の他の芸術分野等について調べ、互いに論じ合う。それにより、私自身を含め受講者各自がいつそう教養と見識を深めると共に、益々混迷の度を深めているかに見える現代を生きる上での有用な指針を得るための一助となればと願っている。毎回の授業は、受講者が1曲、あるいは1群の作品を選んで、それについてのプレゼンテーションを行い、それを元に、受講者全員で忌憚のない議論を展開するという形で進めていくつもりである。

教科書・使用教材：

適宜配布、または指示する

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

クラシック音楽が好きであること。世界史（特に思想史）に関する基礎的な知識（少なくとも関心）を持っていること。音楽をただ観賞するだけでなく、そこから何かを読み取ろうという姿勢を持っていること。

成績評価方法：

演習への貢献度100%（授業時間内の発表50%、授業時間中の発言50%）

教員の研究分野…言語学、キリスト教文学（特に、C.S.ルイス研究）

募集人員…10名程度

募集方法…ガイダンスの際に、各自の受講動機等に関する1～2分程度のスピーチを行う。（したがって、ガイダンスには必ず出席すること）その際、必ず原稿を用意すること。

政経教養セミナー投稿 2023年度 有・2024年度 有

演習テーマ：環境を考える ～ともに生きる社会のつくりかた～

授業内容・授業到達目標：

「環境」とは、「主体（生物や人間）と関わりあうもの、主体に影響を与えるもの」の総称です。この授業では、自分を取り巻く環境について、さまざまな視点から考えていきます。

今、気候変動などの環境問題が深刻化していることは周知の事実です。まずは、現状を知り、自分にはどのような考えがあり、どのような行動をしていくのかを、対話やワークを通して探求していきます。加えて、植物を活用したクラフトや、キャンプなどの野外活動を通して、自然環境の素晴らしさや複雑さに触れ、環境に対する総合的な理解を深めます。

また、多様性を大切にされた社会（≒環境）も求められています。年齢や性別、障害、貧困などによる格差を解消し、ひとりひとりが自分の力を発揮できる社会こそ、持続可能な発展をとげるといわれています。まず「インクルーシブ」や「ユニバーサル」など、関連する概念について学習し、日本やいくつかの国の事例に触れ、自分なりの理想や目標を考えていきます。特にこの授業では、ろう・難聴の人たちとスポーツや野外活動を通して交流し、単に支援する・されるという関係ではなく、互いの違いを理解し、尊重しながら共に生きる感覚を体験します。そのために、彼らの言語である手話も学びます。希望者は夏休みに、ろう・難聴児を対象にした長期キャンプ（静岡県 朝霧高原）にスタッフとして参加できます。

これらの活動から、環境やそれに関わる課題に気づき、関心を持ち、必要な知識、技能とともに、自分なりに取り組む意欲、実行力を身につけることを目標とします。

教科書・使用教材：

必要に応じて資料を配布します。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

- ①授業内では、ご自身の考えや経験について受講者や教員と対話する機会が多くあります。受講するにあたり、まず自身を取り巻く「環境」について考えてみましょう。また、より深く探求するために、書籍やインターネットを活用して、関連する事柄について学びましょう。
- ②野外や運動施設での身体的な活動を実施することがあります。規則正しい生活や食事・睡眠などに気を配り、健康を維持し、活力をもって参加してください。

成績評価方法：

授業内の課題への取り組み・積極性 50%

授業到達目標の達成度・理解度（授業内レポートおよび期末レポート） 30%

授業前後の研究（予習・復習） 20%

教員の研究分野…野外教育、インクルーシブ教育、フィギュアスケート  
募集人員…20人  
募集方法…定員を超えた場合、小論文の出来栄で選抜します。  
政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：スポーツを活用した社会課題の解決，スポーツの実践**

**授業内容・授業到達目標：**

政策提言とは、政府や地方公共団体などの政策決定者に対し、ある課題への取り組みや、その関連政策、思考、事業実施方法や変化を支持するよう推進し、働きかけ、提言を行う活動です。

2011年に制定されたスポーツ基本法の前文では、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と謳い、また、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」と宣言しています。つまり、基本的人権として「スポーツ権」が定義されています。健康推進、障害者福祉、高齢者福祉、ジェンダー平等、地域活性などの様々な社会課題に対して、スポーツが利活用されています。また、今後もスポーツは、新たな可能性を秘めています。

本授業では、一般的な社会課題に着目して、その解決のためにスポーツを利活用する政策を立案します。また、希望者は10月に開催されるスポーツ政策提言インカレコンペに出場します。

11月からは和泉体育館メインホールで様々な球技スポーツを行います。

春季休業中(3泊4日)には、スノースポーツ実践のためのゼミ合宿を行います。本授業を受講することにより、幅広いスポーツ技術の向上、他者とのコミュニケーション能力、社会史の知識、プレゼンテーション能力などを養うことができます。また、希望者にはスポーツ関連施設、企業の見学やフィールドワークを実施します。

**教科書・使用教材：**

後藤光将編(2020)『オリンピック・パラリンピックを学ぶ』岩波書店

高峰修編(2020)『夢と欲望のオリンピック その多様な姿』成文堂

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

水曜5限の授業だけではなく、フィールドワークなどの授業外での活動にも積極的に参加することを望みます。受講にあたって、特別な準備学習の必要はありませんが、スポーツ政策立案に関連する時事的な話題の収集に努めてください。

**成績評価方法：**

授業への貢献度50%、授業時課題20%、発表内容30%

※1/31-2/3(予定)のスノースポーツ合宿への参加は任意

教員の研究分野…体育・スポーツ史，スポーツ人類学，オリンピック教育

募集人員…15名程度

募集方法…希望者多数の場合はスポーツ時事問題に関する筆記試験を実施します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

演習テーマ：宮本常一『私の日本地図』を読む

授業内容・授業到達目標：

この演習では、民俗学者宮本常一の『私の日本地図』シリーズを輪読し、地域を読み解く視点を学びます。宮本は昭和の時代に日本全国津々浦々を歩き回り、フィールドワークによる詳細な記録を残しました。本演習では宮本の著作を読むことを通じて、ある地域でなぜ、いかなる景観がみられるのか、それがどのように変化し維持されてきたのかを考察します。それは、私たちが現在目にする景観の背後にいかなる諸要因が潜んでいるのか、環境、歴史、社会、経済、文化等の様々な面から地域を複合的に捉え分析する作業といえます。

さらに、本演習ではテキストの輪読だけにとどまらず、そこで取り上げられた地域が現在に至るまでにいかに変化してきたのかを地理学的な手法で分析します。地域分析の道具として用いるのは、様々な種類の地図や航空写真、統計資料、GIS(地理情報システム)です。民俗学的分析と地理学的分析の融合を通じて、地域を読み解く楽しさを味わって下さい。

まず春学期は、『私の日本地図1 天竜川に沿って』を扱います。遠州平野から伊那谷を経て諏訪湖に至る天竜川流域を一緒に旅していきましょう。演習では担当者が発表資料を作成し、それをもとに全員で議論します。また、受講生の希望次第では、実際に現地へ行き、宮本の足跡を辿るフィールドワークの機会もあるかもしれません。

教科書・使用教材：

宮本常一『私の日本地図1 天竜川に沿って』未来社、2016年

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

- ・受講生は、毎回全員が文献を精読したうえで授業に臨み、議論に積極的に参加すること。他の学生の発表時に意見や質問を出さない学生は、単位入手はできません。
- ・地域の成り立ちや歴史に関心があり、地図が好きな学生を希望します。

成績評価方法：

発表60%、演習への貢献度40%

教員の研究分野…人文地理学、ヨーロッパ地域研究

募集人員…10人前後

募集方法…初回授業時に、氏名・学籍番号・学年・組・学科を記載した以下のレポートを持参すること。

課題：天竜川流域地域に関して自由に調べ、あなたが最も関心を持った事柄について600字程度にまとめなさい。

課題の内容を踏まえて履修者を決定します。初回授業を欠席もしくはレポートを持参しない学生は履修できません。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

演習テーマ：プレゼンテーションで世界を変える！～ TEDの世界～

授業内容・授業到達目標：

プレゼンテーション・スキルは、在学中にも、また社会に出てからも、現代では必須の能力だと言えます。今や実社会では、その能力が一生を決定すると言ってよいほど重要な資質にさえなっています。

このゼミでは、TEDで公開されている世界的なプレゼンテーションの分析と学習を通じて、各自のプレゼンテーション・スキルの向上をはかるとともに、超一流のプレゼンテーションによって表現されている最先端の科学から、芸術や人生の意味に至るまで、その内容についても理解を深めたいと思います。

TED (Technology, Entertainment, Design) は、毎年一回開催される大規模な世界大会のほかに、各地でも活発なプレゼンテーションの会が開かれて、その模様をインターネット上に公開している非営利団体です。

TEDのステージには、ビル・ゲイツやアル・ゴアなどの著名な人物のほか、文化、芸術、科学、エンターテインメントなど、あらゆる分野から「超一流」のプレゼンターが登場し、10分から20分のプレゼンテーションを行います。聴衆も、ジャーナリストから学術関係者まで極めて高いレベルの人々ばかりですので、TEDの会場で聴衆を引き付けることは、至難の業だとも言われています。そのためTEDのプレゼンテーションは、どれも非常に説得力があり、「世界を変える」ほどのインパクトを持つものさえあります。

授業では、毎回、各担当者が予めTEDのサイトから選んでおいたプレゼンテーションの内容を解説することにより、自分自身のプレゼンテーション能力の向上を図ります。参考URL：<http://shibasaki.fine.to/ted/>

教科書・使用教材：

使用しません。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

PCがなくても授業の準備は可能ですが、所有していないと何かと不便です。出来るだけ自分専用のPCを準備するようにしましょう。初回の授業で、ビデオのダウンロード方法、字幕の加工方法などを解説します。

成績評価方法：

授業時でのプレゼンテーション60%、ディスカッションの貢献度30%、レポート10%

教員の研究分野…環境思想・科学技術社会論・応用倫理学

募集人員…10名

募集方法…Oh-o! Meijiのクラスウェブ・アンケートコーナーに掲示されている「エントリーフォーム」に必要事項を入力してください。入力には、クラスウェブ上で、この授業を「仮登録」することが必要です。締め切りはガイダンス当日の午後5時です。新1年生でOh-o! Meijiの利用方法がよく分からない場合は、「志望動機」(300字程度)と「自己PR」(200字程度)を予め考えておくと、後の入力が容易です。エントリー方法はガイダンスで説明します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 有・2024年度 有



特任講師 ブルチャー, ミヒャエル 木曜1時限 (通年)  
担当科目 : 日本政治思想史、日本政治文化論、政治学特殊講義

---

演習テーマ : Political Thought and the History of Modern Japan

授業内容・授業到達目標 :

This course will help students develop field-specific English reading and writing skills through joint readings and discussion of scholarly texts.

A main focus of this course will be on English-language discussions of the Meiji Restoration and Meiji Constitution as epochal turning points in the making of modern Japan, also with a view to the postwar “symbol monarchy.”

Readings on these topics will include passages from English-language textbooks and research publications in addition to comparative analyses of “modern revolutions” and the constitution of “modern society.”

As a rule, readings assigned will be available in Japanese translation as well. Students less assured of their English reading skills may therefore consult available Japanese translations on the way, enhancing their active vocabularies and familiarity with English expressions in this fashion. Classroom discussion, however, will be in English, and students will be required to submit English resumes on a regular basis.

Students may also choose to embark on individual study projects in the course of the academic year on subjects related to the themes of the course. You could, for example, opt to study a particular political thinker or actor more closely, or engage with a concept or issue that has sparked your interest. But this is an option, not a requirement.

教科書・使用教材 :

There is no textbook for this class. Joint readings will be distributed in class. Students who want to engage in individual study projects will learn how to find and work with library resources.

受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :

Students are required to prepare joint readings (consulting existing Japanese translations as needed), actively participate in classroom discussion, and submit resumes (or report on individual research) in English on a regular basis.

成績評価方法 :

Class participation: 30%

Resumes or reports: 70%

教員の研究分野…History of Political Thought, History of Modern Japan

募集人員…10-12 students

募集方法…If the number of applicants is higher, students will be selected for admission through preliminary interviews.

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：ドイツ文化、生活と歴史**

**授業内容・授業到達目標：**

1990年に東西ドイツが再統一を果たしてから、ドイツは政治的にも経済的にもEUヨーロッパ連合を主導する国の一つである。文化的には、作曲家バッハやベートーベン、哲学者のカント、作家ゲーテ、ハイネらを輩出し、明治以来日本でも身近な国の一つであった。このドイツが近代的な国民国家となったのは比較的遅く19世紀末のことである。しかしそれ以前にはオーストリアや北イタリアを含み、古代西ローマ帝国の後裔「神聖ローマ帝国」の名の下で千年近くにもわたってヨーロッパの大国であり続けた。現在のドイツは政治や経済だけでなく環境先進国、観光立国、スポーツ大国など様々な面を持っている。このゼミでは、ドイツという国にできるだけ広い視点からアプローチしたい。

春学期はドイツという国をよりよく理解するためにドイツに関する易しい入門書を読み、秋学期は参加者それぞれが自由にテーマを選び、担当発表するという形を取りたい。また少人数ゼミの特色を活かしプレゼンをメインに、資料検索やレジュメの作成、引用の仕方など、論文執筆の際の基礎的な知識も習得する。

**教科書・使用教材：**

使用するテキスト(ドイツの生活・文化・歴史関連書籍)はガイダンス時にお知らせする。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

ドイツ語の知識は全く必要としないが、何らかの意味でドイツ(ドイツ語圏)に興味を持った学生の履修を期待する。ゼミは学生主体の参加型の授業であり、自分の発表の際にはパワポやレジュメ、資料の事前準備が必要となる。聞き手の側も質問や感想など積極的な関与が望まれる。

**成績評価方法：**

演習への貢献度(担当発表を含む)70%、授業時課題30%を目安に総合的に判断する。

教員の研究分野…ドイツ文学(主にドイツ語圏スイス)

募集人員…10～15名程度

募集方法…最初のガイダンスで決定する。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

教授 海野 素央 木曜2時限(通年)

担当科目：異文化理解とコミュニケーション、異文化摩擦とコミュニケーション、  
異文化ビジネス概論、実践異文化ビジネス論、専門演習

演習テーマ：ドナルド・トランプ米大統領のリーダーシップスタイルとコミュニケーションスタイル

授業内容・授業到達目標：

近年、国際化の著しい進展に伴う日本企業の海外進出および外資系企業の日本進出によって、文化的背景の異なる人々と協働したり、そうした人々を管理する、あるいは、彼らの下で仕事をする機会が増加している。こうしたビジネス環境の変化に、従来のリーダーシップ論では対応しきれない事態が生じてきている。21世紀に、グローバルな舞台で管理者を目指す学生諸君には、今、新しいリーダーシップが求められている。

本ゼミでは、異文化環境におけるリーダーシップを研究テーマとして取り上げ、学生諸君が、新しいリーダーシップつまり講師が提示している異文化対応型リーダーシップを理解し、そのKSAA(知識・スキル・態度・能力)の基礎を習得することを目的として、事例、小グループごとのディスカッション、チームプロジェクト、シミュレーション(疑似体験)、プレゼンテーションを中心に進めていく。年2回、ディベート大会も実施している。その意味では、極めて実践的な演習である。

教科書・使用教材：

海野素央『オバマ再選の内幕—オバマ陣営を支えた日本人が語る選挙戦略』、海野素央『リスクと回復力—東京電力福島第一原発事故から学ぶリーダーシップ』、海野素央『トヨタ公聴会から学ぶ異文化コミュニケーション』(いずれも同友館) L.A. サモバー、R.E. ポーター、N.C. ジェイン著 西田司他訳(1993)『異文化間コミュニケーション入門』、W.B. グディカンスト著 ICC 研究会訳(1993)『異文化に橋を架ける—効果的なコミュニケーション』(いずれも聖文社)

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

モチベーションの高い学生を求む。

成績評価方法：

プレゼンテーション、試験、Discussion Question、レポート、授業態度

教員の研究分野…「ドナルド・トランプ米大統領のリーダーシップスタイルとコミュニケーションスタイル」

募集人員…7～8名

募集方法…レポート：テーマ「国際人とは」。1000字程度。横書き。名前、学年、組、番号、出身地を明記。身上書(ガイダンスで配布)。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

演習テーマ：夏目漱石と村上春樹を読む

授業内容：

近代と現代をそれぞれ代表する人気作家・夏目漱石と村上春樹の作品を読解する。

高浜虚子に誘われて英文学者・夏目金之助が気楽な気持ちで「吾輩は猫である」を書いたのは、いまから100年以上前のことである。これは作家・漱石誕生の契機となる意味深い出来事だが、その後朝日新聞社専属の職業作家になった漱石は、「明暗」執筆中の大正5年に病死するまでのわずか十数年の間に、「坊っちゃん」や「三四郎」、「それから」といった、こんにち名作の名で呼ばれる小説をつぎつぎと発表した。これらの作品のなかで漱石は親子や兄弟、夫婦といった人と人との関係を繰り返し描いたが、それは現代の私たちが人と結ぶ関係やそこに胚胎される問題となお、深く接続しているといつてよい。

1979年の群像新人文学賞受賞作『風の歌を聴け』でデビューした村上春樹は、これまでに多くの読者を獲得してきた。彼の小説のなかの断片的な物事やさりげなく写しとられただけに見える場面は、注意してみると、実は作品のテーマそのものに深く結び付く重要な鍵である場合が少なくない。こうした彼の小説はどのようにすれば、より深く読むことができるだろうか。このゼミではこれらの小説を分析的に読むことにより、夏目漱石と村上春樹の作品世界の再構築を試みたい。

ゼミ員は各自、担当した箇所についての研究成果をレジュメにまとめたうえで口頭発表し、全員で討論をしながら相互に理解を深める。つぎのような小説を研究対象とする。

夏目漱石：『坊っちゃん』明39 『三四郎』明41 『それから』明42 『こころ』大3(すべて新潮文庫)

村上春樹：『風の歌を聴け』1979(講談社文庫)『蜩・納屋を焼く・その他の短編』(全5編)1984(新潮文庫)『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』(上・下)1985(新潮文庫)『ノルウェイの森』(上・下)1987(講談社文庫)

以上の小説を通読すること、口頭発表・質問・討論についての基本的な技術を身につけることを到達目標とする。

教科書・使用教材：

上記の計10冊

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

積極的に発言できる学生を歓迎する。また他のゼミ員に迷惑をかけないように、とくに発表者と司会者は無断欠席などをしないように心がけてほしい。ディスカッションの準備として、事前に当該作品を通読しておく必要がある。

成績評価方法：

発表内容60%、演習への貢献度40%

教員の研究分野…近代日本の文学・文化

募集人員…10名程度

募集方法…初回の授業時に決定

政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 無

演習テーマ：「文系の環境問題スペシャリスト養成」講座

授業内容：

環境エコノミスト、環境ジャーナリスト、環境コンサルタント、環境行政官、環境政治家など、環境問題の解決を目指すスペシャリストになるために必要と思われる基本的な文献や映像などを批判的に読み解くための知的なトレーニングの場を提供したい。

受講者には、環境問題に関連する初歩的な文献や映像などを年間5作品程度読み込み、レポート(書評や映評)を3本程度書き、パワーポイントを用いて発表し、提出してもらいます。

演習指導教員は、文献や映像を案内し、発表についての受講者相互の議論を活性化し、レポートを添削します。可能なら、秋学期はグループ研究を行います。

テキストは、以下のカテゴリから受講者が自由に選択することになりますが、ここに挙げていない文献や映像なども追加で案内します。

1. 環境問題の歴史を学ぶ(日本編)：石牟礼道子『苦海浄土』他
2. 環境問題の歴史を学ぶ(海外編)：レイチェル・カーソン『沈黙の春』他
3. 環境経済学を学ぶ：植田和弘『環境経済学への招待』他
4. 環境政治学を学ぶ：松下和夫『環境政治入門』他
5. 映画で学ぶ環境問題：『エレン・ブロコビッチ』(テーマ：土壌汚染)／『シビルアクション』(テーマ：公害訴訟)他
6. 環境技術展の見学：「エコプロダクツ展」・「省エネルギー展」／自然エネルギー施設見学  
なお、専門演習(3,4年ゼミ)で行っている養蜂プロジェクト(千代田区の蜜源植物の調査)に参加できます。

授業到達目標：

適切にレポートが書け、研究発表ができる能力を身につけること。共同論文の作成。

教科書・使用教材：

教科書はなし。参考文献多数。

受講希望者に対する希望：

環境問題への高い関心と出席する意欲。

準備学習の内容：

指定された文献・資料を読んでおくこと。

成績評価方法：

授業への出席と積極性(50%)、レポート内容(50%)

教員の研究分野…環境経済学・環境政策学・釣りと流域環境保全・養蜂と環境  
募集人員…10名程度  
募集方法…「環境問題への関心の深さを問う」面接(初回の授業時)  
政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 有

**演習テーマ：国際金融と日本経済**

**授業内容：**

現代の日本経済はグローバル経済の分析なしでは語れない。本年1月にトランプ大統領が就任し、関税引上げ等アメリカ第一主義を掲げる経済政策が実行される見通しである。一方ロシアウクライナ戦争ははまだ終結の道筋が見えずエネルギー価格は上昇し、世界ではインフレが顕著となっている。さらにトランプ政権下でのパリ協定離脱、WHO 離脱など脱炭素や疫病等での国際協調も不安定要素が目立ってきている。価値観の相違もあって世界は分断傾向にあり、第二次世界大戦、冷戦終結後大きく進んだ世界的な自由貿易も、保護主義の台頭や地域協定重視の潮流のなか、世界経済にマイナスの影響を与えることが懸念されている。

本演習は、こうした大きな世界経済の潮流変化のなか、日本企業の経営のあり方、日本経済の将来展望を検討するものである。将来展望を行うには、世界経済を俯瞰し、現状を把握し、理論や歴史を勉強した上で、データを基に分析するスキルも必要となる。

この授業の到達目標は、まずは世界経済で現実に行っている内外の情報を収集し、経済学的に分析することである。そのために、Wall Street Journal 等を読み、各自が記事についてプレゼンし、質疑応答を行う。PPT 作成、ディスカッションの高度化、議論のリードなども到達目標となる。

春学期は基本的なマクロ経済の仕組みを学んだ後、Wall Street Journal 等を基に担当者がスライド資料を基にプレゼンし、質疑応答を行う。グループディスカッションも行い、そのトピックについて理解を深める。そのため準備学習としては担当者はそのトピックについて記事だけでなく、情報を収集し分析することになる。

**教科書・使用教材：**

勝 悦子 (2014) 『新しい国際金融論』有斐閣

The Wall Street Journal

都度授業で参考文献を提示する。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

何事にも興味を持ち、探究心旺盛で、国際情勢に興味のある学生を望みます。

**成績評価方法：**

授業時課題30%、報告内容30%、授業への貢献度40%

教員の研究分野…金融経済、日本経済、金融通貨システム

募集人員…10～15名程度

募集方法…応募者多数の場合は面接を実施する。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無



演習テーマ：貧困と周縁社会——ヤクザと革命の生まれ方

授業内容・授業到達目標：

貧困の存在を社会経済的な前提条件としている社会構造において、「弱者救済」をどんなに謳ったところで、結局歴史上現れてきたのは「ヤクザ」と「革命」——つまりは、「平和な相互扶助」ではなく、「暴力に支えられた相互扶助」でしかなかった。

そんな「相互扶助」の「伝統」すら、近年の日本では一見したところ、破防法と暴対法のツアープラトンによって窒息させられているかに見える。ただよく考えると、現実には、闇バイトもト横キッズも大久保公園の立ちんぼも後を絶たない。それはそうだ、貧困がビルトインされているのだ。祈っていても暴力はなくなるらない。

貧困とは、革命の震源である。数千年の歴史を持つ中国での王朝転覆もほとんどは、安定した職を持ってないアウトローな人びとが関係してきた。日本でも、周縁化されたアウトロー社会がいくらかも存在している。だが、100万円を超える学費を払って、首都圏にも住める条件に恵まれた皆さんから、こうした周縁社会での貧困—暴力—革命のトライアングルは見えているだろうか。

この教養演習は、不可視化された「貧困」と「周縁」への理解を深め、暴力と社会との関係の問題を議論することを目指すゼミである。

教科書・使用教材：

- ・宮崎学『ヤクザと日本：近代の無頼』、ちくま新書、2008年。
- ・筆坂秀世、宮崎学『日本共産党vs. 部落解放同盟』、にんげん出版、2010年。
- ・鶴見良行『バナナと日本人：フィリピン農園と食卓のあいだ』、岩波新書、1982年。
- ・レーニン『帝国主義論』、光文社古典新訳文庫、2006年。
- ・柳田国男「親方子方」
- ・藤田若雄『新版 第二組合』、日本評論社、1967年。
- ・福本勝清『中国革命を駆け抜けたアウトローたち』、中公新書、1999年。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

- ・体育会学生については、クラブ活動による欠席が見込まれる場合、志望を認めない。
- ・夏に予定するゼミ合宿(山中湖など)に参加可能であることを志望の条件とする。
- ・ゼミ生と積極的に交流すること。

成績評価方法：

- ・発表内容30%、授業への貢献度70%
- ・毎回出席し、遅刻をしないこと。
- ・無断欠席の学生や、(理由があっても)頻繁に欠席する学生の単位は認定しない。
- ・議論に積極的にでない学生については、「授業への貢献度」が低いものとみなす。

教員の研究分野…中国近現代史、清末台湾史、日中関係史、労働運動史(とくに1950～60年代の北海道)

募集人員…5～15名

募集方法…①自己紹介と②志望の動機をともに作文し(字数自由)、メールで提出すること(hane260@meiji.ac.jp)。4月8日(火)15時を期限とする(厳守)。その後、初回ゼミ時に意思確認を行い、可否を判断する。作文未提出者と初回不参加者の履修は原則認めない。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 有

専任講師 武田 紘平 木曜5時限(通年)

担当科目：運動学演習、健康・運動科学I

### 演習テーマ：理論と実践から自身の体を知る

#### 授業内容・授業到達目標：

健康の維持・増進や体力向上のためには、正しい知識を身に付け、日々継続して運動を行う必要があります。しかしながら、20歳代の運動実施率は男性で約25%、女性で20%未満と高いとは言えません。また、運動が健康に良いことは誰でも知っていますが、運動を行うと身体ではどのような適応が起きるのか、どのような運動をどのように行うのが効果的か十分に理解されていません。

本授業では、スポーツ科学的視点(運動生理学、スポーツ医学、運動栄養学、トレーニング学等)から運動・トレーニングを理解し、自分の嗜好や目的にあった運動処方確立する授業です。春学期はBig3を中心とするレジスタンストレーニング(筋トレ)の正しい方法について理解・実践することで身体の適応についてみなさん自身で実感してもらいます。秋学期は持久性トレーニングが中心となり、最大酸素摂取量や自身の筋線維割合の推定などを行います。理論ではスポーツ科学に関する書籍の輪読会を行い、最新の知見を理解すると共に自身の生活・トレーニングに取り入れることを目指します。一年を通して皆さんの身体について学び、将来的に自分で考え運動を実践できることが目標になっています。

#### 教科書・使用教材：

石井直方の筋肉の科学2.0(ベースボールマガジン社)…全員に購入してもらいます

また、追加資料を指示・配布することがあります。

#### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

春学期と秋学期を通して授業への出席が前提となります。

普段から積極的に運動・トレーニングを行うことを推奨します。この授業では強度の高い筋トレやランニング等激しい運動を行いますので注意してください。毎回教科書の予習が前提となることを理解した上で受講してください。トレーニングウェア、運動靴(体育館用)、シューズケース等は各自で準備してください。

#### 成績評価方法：

授業への取り組み度合い40%、授業内での発表30%、レポート・提出物30%

教員の研究分野…運動生理学

募集人員…12名程度

募集方法…希望者多数の場合は、初回授業時にスポーツ科学に関するレポート課題を課します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

演習テーマ：Economic Affairs (経済事情)

授業内容・授業到達目標：

この演習は、経済(経済学)入門として位置づけられ、今日の経済社会において、私達が責任ある市民として生活し、それぞれの分野で自分の役割を果たしていくために必要な経済の知識を身につけるとともに、現実にはどのような問題が起こっているのか理解していくことを目的としています。

この演習においては、日常的に関心を持って経済ニュースを集め、毎週、現実経済の中から自分が特に重要だと考える経済時事問題を取り上げて発表してもらい、少人数のグループに分かれて討論していきます。また、春学期と秋学期の後半には、より深く掘り下げてみたいテーマを選んで共同研究を行い、その成果を発表します。(※ゼミ生の希望に応じて内容変更の可能性あり。過去には、「ディベート」、「経済実験」、「経済系ボードゲーム」等を実施。)

最終的には、受講生全員が、代表的な経済情報紙である「日本経済新聞」を読みこなし、それらの情報を批判的に検討し、自らの考えを展開できるようになることを目標としています。また、経済(経済学)の楽しさ、面白さを実感しながら、大学で学ぶために必要な基本的スキルを磨くことも目標の一つとして考えています。

教科書・使用教材：

(教科書)『ネットニュースではわからない本当の日本経済入門』伊藤元重【著】、東洋経済新報社(2021年)

(使用教材)日本経済新聞

※その他、必要に応じて経済入門書や参考文献を提示いたします。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

「経済」と聞くと難しいイメージを持つかもしれませんが、「経済」というのは、決して本の中だけの議論ではなく、私達が日常行っている活動の集まりであり、「現実の生活」そのものです。ですから、私達が「経済」について知るということは、人々がどう考え、行動し、世界全体としてどのように機能しているのかを知ることだと言えます。それによって、私達は、経済・社会が将来どのような方向に向かって進んでいくのかということを見通す力(洞察力)を養うことができるのです。そのため、演習では、様々な問題に関心を持って何事にも積極的に取り組む姿勢が求められます。このゼミで何を学ばれるかは、皆さんの努力にかかっているといえます。

準備学習の内容：

受講生には、毎日、「日本経済新聞」を読んで経済情報を集め、現実経済の動きを追いかけてもらいます。また、毎週、その中から自分がとくに重要だと考える経済時事問題を取り上げて、その問題についての自分の意見(自分はどのように考えたのか)を準備する必要があります。

成績評価方法：

演習への貢献度50%、演習課題(授業時発表を含む)30%、目標到達度評価20%

教員の研究分野…グローバル経済の分析と経済政策、経済成長理論と経済成長政策  
募集人員…15～20名程度  
募集方法…初回ガイダンス時に配布する身上書の提出による書類選考  
政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：経済指標の what and so what**

**授業内容：**

貿易収支、消費支出、物価指数、設備稼働率、株価指数・・・世の中には数えきれないほどの経済指標が溢れています。それぞれの経済指標がどのような物であるかは、Google先生が一発で教えてくれますし、政府統計もインターネット上で簡単に入手できる物が増えてきました。しかし、足元である経済指標がこのように動きましたと言われて、「へえーそうなんだ」で終わると、「それってつまりどういうこと?」「どうしてそうなったの?」と考えるのとでは、大きく違うことは言うまでもありません。

当該演習では春学期に経済指標の「それってつまりどういうこと?」にフォーカスし、経済指標がどのような物であるかだけでなく、その動きが何を意味・示唆しているのかについて学びます。秋学期は「どうしてそうなったの?」に注目し、経済指標の動きの背後にある原因を探るための分析手法について学習します。

**授業到達目標：**

通年での演習を通じ、身の回りに溢れている経済指標に関する初歩的な理解だけでなく、それが示唆することや、その背後にある「何故?」を分析するのに必要な初歩的な手法に関する理解を身に付けることを目指します。これは同時に、その先として、実際に指標が示唆することについて考えあるいは議論し、自ら手を動かして分析することを期待するものでもあります。

**教科書・使用教材：**

春学期：コンスタブル、サイモン、ロバート・E・ライト著、上野泰也(監訳)・高橋璃子(翻訳)(2012)『ウォールストリート・ジャーナル式 経済指標 読み方のルール』かんき出版

秋学期：松浦寿幸著(2012)『独習! ビジネス統計』東京図書

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

春学期は上記の教材を履修者で分担し、事前に読み込んだ上で内容をスライド資料としてまとめ、演習時間内で発表してもらいます。秋学期は春学期同様の発表に加え、演習時間内で実際にExcelの操作を行います。そのため、事前の教材の精読と資料作成、最低限度のExcelの操作スキルが欠かせない。

**成績評価方法：**

講義への貢献：30%、発表内容：50%、他の学生の発表に対するコメントや発言、その基づく議論など：20%の比重で、明治大学の評価・評点基準に沿って成績評価を行う。

教員の研究分野…国際経済学、国際貿易

募集人員…13名程度

募集方法…多数の応募があった場合は初回の演習時間内で簡単な面談による選抜を行う

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

演習テーマ：ケベックの「物語」研究

授業内容：

「人間は物語る動物である」といわれるように、私たちの日々の営みは「物語る／語る」という行為で成り立っているといっても過言ではありません。帰宅した子どもが学校での出来事を親に語るように、あるいは特定の経験について友人と語り合うように、「物語る」行為には、「経験を共有する」という営みがあります。経験を共有することで、人間は集団生活＝社会を形づくっているといえます。

もう少し視野を広げてみると、物語る行為はいわゆる歴史のなかに見出されるでしょう。実際、「歴史」を意味するフランス語の« histoire »には、「物語」の意味合いがあります。このことは、歴史と物語は表裏一体であり、物語が語られるものであるとすれば、歴史は物語るという行為をたらしめる人々の声の集合体であることをあらわしています。歴史とは単に年表のように線形的に並べられた事実の羅列ではなく、複数の声および物語が重層的に織りなされる情念的かつ創造的空間だといえます。歴史は事実ありきではなく、さまざまな人間関係・因果関係や文脈の中で生まれた出来事をどのように語るのかということが肝要なのです。

この授業では、人間にとっての「物語る」ことの意味を、カナダのフランス語圏であるケベックの「物語」を取り上げながら、考えていきます。前期と後期それぞれ一冊の本を読むことをとおして、ひいては歴史を物語るとはどのようなものか、歴史とは何かを自由に議論し、考察を深めていきます。毎週、学生は二人一組で一つの章を担当し、その内容をまとめたものを発表してもらう予定です。

教科書・使用教材：

ジャック・ラクルシエール『ケベックの歴史』小倉和子ほか4名訳、水声社、2023年。

ジュール・ヴェルヌ『名を捨てた家族：1837-38年ケベックの叛乱』大矢タカヤス訳、彩流社、2016年。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

ケベック文化と社会に関心をもっていること。担当以外の部分も必ず読んだ上で、授業に参加すること。共同作業が必須なので、欠席・遅刻しない学生を希望します。

成績評価方法：

授業への貢献度(課題の取り組み、発言内容、発表) 70%、期末レポート 30%

教員の研究分野…ケベック文学

募集人員…10～15人程度

募集方法…初回に説明します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無



**演習テーマ：人口とライフコースの変化から見る未来社会**

**授業内容・授業到達目標：**

現在日本は世界に先駆けて人口減少、少子高齢化がもたらす経済社会の歴史的転換に直面しています。地方ではすでに多くの自治体やコミュニティーの存続が危ぶまれており、その先には日本社会全体の持続可能性も問われています。

実際、人口変化の社会経済に与える影響は根深く、たとえば有権者人口が高齢化することで国の政策が高齢者よりになったり、消費市場が高齢化することで子ども・若者層向けの製品やサービスが劣化するなど、政治面でも経済面でも若者や子育て世代が不利になるおそれがあります。すると少子化がさらに進行し、人口減少、高齢化がいつそう深刻化するという悪循環のしくみが働いてしまいます。つまり、民主主義（政治）や市場原理（経済）といった、これまで社会を根幹から支えてきた基本理念そのものが、多数決を原則とするが故に、この悪循環に加担していることを意味します。こうした社会基盤の揺らぎは、産業革命以来発展してきた現代文明の行き詰まりを示しており、私たちはまったく新しい社会システムを再構築する必要に迫られているわけです。

本演習では、今後世界のすべての人々のすべての活動に影響を与えるだろうこの歴史的な社会変動を題材としつつ、それらを科学的に把握し考察するための基本スキルや思考力を養います。統計やデータサイエンスの基礎を学び、独自の問題意識の形成や、分析・考察、論文作成、討論、口頭発表などに関する技術を習得します。これらは今後の大学生活や卒業後の職場における活動の基礎となるものです。

**教科書・使用教材：**

随時、資料を配付（Oh-o! Meiji システムによるPDF、EXCEL 形式等ファイルの配布）

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

人口、社会、未来に対する関心

**成績評価方法：**

学期末レポート 50%、演習への貢献度（出席、発言、発表等） 50%

教員の研究分野…人口学、データ科学、ライフコース学、人類科学

募集人員…14 名以内

募集方法…初回授業参加のこと。希望多数の際はアンケートによる選考を行う。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無



特任教授 アベシンヘ ムディヤンセラゲ, ニロス チャミンダ 金曜3時限 (通年)

担当科目 : Asian politics, Politics of South Asia, Indian Ocean Politics, History of Political Thoughts,  
Historical Development of International Relations

---

演習テーマ : Changing Power Dynamics of Asian Politics

授業内容・授業到達目標 :

This course examines the evolving significance of Asian politics in the international system, focusing on how historical, geopolitical, and economic factors have shaped the region's current power dynamics. Asia's rise as a global powerhouse has not only shifted the balance of power but has also established the region as a focal point for international cooperation and competition. Students will explore the roles of key actors such as China, India, Japan, South Korea and regional organizations, agencies and alliances while critically analyzing the influence of external powers like the United States and its allies.

Through this course, students will gain insights into the region's strategic importance, particularly in the context of power dynamics, economic integration, security alliances, and political transformations. By reviewing literature and engaging in discussions, students will understand how Asia's internal and external dynamics contribute to its prominence in shaping global power structures. This course will prepare students to analyze complex political trends and their implications for the future of international relations. Simultaneously, students will enhance their English proficiency by engaging with English texts, developing their presentation and leadership skills through class activities and discussions.

Themes for the individual study and joint readings can be selected from the theoretical and empirical literature available on Asian politics.

教科書・使用教材 :

Asia Rising - A Handbook of History and International

Relations in East, South and Southeast Asia, Sahashi et al, 2024, Springer, Tokyo

受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :

Selected students are required to go through the assigned texts individually as well as jointly. All students should actively engage in class discussion during the entire academic year/semester. Moreover, students will be given individual and group presentations based on the reading materials and their research interests. Students anticipating composing a dissertation/ research paper must do the progress presentation and submit a research paper at the end of the academic year.

成績評価方法 :

Class Participation: 40%

Literature review (reading text): 30%

Individual Presentations: 30%

教員の研究分野…Asian Politics, Politics of South Asia, Indian Ocean Politics

募集人員…Up to 20 students

募集方法…If the number of applicants is higher than 20, students will be selected for admission through a preliminary interview

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 有

**演習テーマ：ベンチャー・中小企業経営研究**

**授業内容・授業到達目標：**

ベンチャー・中小企業による産業の苗床機能の発揮が、先進諸国でも、発展途上国でも期待されている。なぜなら、今日のホンダやソニーも、創業当初は小さな町工場からスタートして、一大産業を築いたからである。また、経済のグローバル化、サービス化、AI/IoT化など、企業を取り巻く経済環境は変化し続けている。従って、経済学を学ぶための前提条件として、①企業活動に対する強い関心を持つ、②企業の経営実態を十分に観察する眼力を身につける必要がある。

そこで第1に、ベンチャー・中小企業の実態と今日の大企業が中小企業から大企業に成長・発展してきたプロセスについて、文献、白書などを通じて研究し、その内容に関する研究発表を行う。第2に、映像を用いて、経営者のコメントや企業活動の現場紹介から経営の実態を学び、それに基づくレポート作成を行う。なお、ビジュアル教材の内容は、中小企業の連携・組織化活動、ベンチャー・中小企業の経営者像、創業・新事業創造から大企業に至ったプロセスなどとする。第3に、課外授業として、工場や物流センターなどの現場視察を行う。最後に、これら一連の研究活動を通じて、各自、ベンチャー・中小企業を研究対象としたケーススタディによる論文を作成する。

**教科書・使用教材：**

『空洞化する都市型製造業集積の未来』森下 正著、同友館、2008年

『持続可能社会を築く中小企業経営』森下 正・竜 浩一著、八千代出版、2025年刊行予定

『中小企業白書 2024年版』中小企業庁編、日経印刷、2024年

『中小企業白書 2025年版』中小企業庁編、日経印刷、2025年刊行予定

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

受講にあたり経済学の基礎知識として「マクロ・ミクロ経済学」を、テクノロジーの変遷に関する知識として「歴史における科学」を、文章表現能力を養うために「国語表現」「日本文学」を受講することをお勧めする。また、経済活動の実態に興味があり、無遅刻無欠勤の皆勤で最後までやり抜く強い意志のある者の受講を望む。また、授業前の発表用資料の準備を怠らぬに実践してほしい。

**成績評価方法：**

論文作成30点+課題レポート20点+課題発表20点+現地視察レポート30点=100点

教員の研究分野…中小企業(ベンチャー)論、地域産業論、工業政策

募集人員…15名程度

募集方法…筆記試験(ベンチャー・中小企業・地域産業に関する時事問題に関する作文)

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

演習テーマ: 体力・運動能力・健康度を探る

授業内容:

本演習の目的は、様々な運動・スポーツの実践、日常ではあまり触れることのできない機器を使用した体力測定の実施などを通して、自身の体力、運動能力、健康度について客観的に評価できる能力を養うことである。

春学期は、「和泉総合体育館・サブホール」において、いろいろな運動・スポーツを実践し、それを通して自身の体力についての現状を認識すること、およびゼミ員相互の親睦を深めることを主たる目的とする。秋学期は「和泉総合体育館・フィットネスルーム」で、自分の「体力」を測定、評価し、その評価から自分に対するトレーニング処方(目標決定、それを達成させるためのトレーニング方法の選択)できる能力を養うことを主たる目的とする。

春季休暇中(2月下旬または3月上旬を予定)は、ゼミ合宿(スノースポーツ合宿)を実施し、ゼミのまとめを行う。

到達目標:

受講生は、様々な運動・スポーツの実践を通して、自身の体力、運動能力、健康度について客観的に評価できるようになる。また運動・スポーツを通して、ゼミ員が積極的にコミュニケーションを取り合い、日常生活にも活用することができるようになる。

教科書・使用教材:

特になし。

受講希望者に対する希望:

本演習の受講を希望する者は、単に「運動・スポーツ好き」に止まらず、自分の身体や体力、運動能力について興味があることを大前提とする。また、授業は休まず、他人任せにせず、自主的・積極的に行動できる学生の入室を希望する。

授業の準備学習:

毎回、体育館内で運動・スポーツを実施するため、運動に適した服装(ジャージ等)・靴(体育館シューズ)、シューズケース(外靴収納用)など、最低限必要な準備を怠らないこと。また、自己の健康管理を行い、授業参加に支障がないよう努めること。

成績評価方法:

- 一般学生 : ① 演習への貢献度(70%)  
② ゼミ合宿参加状況(30%)  
スポーツ推薦入学者: ① 課題への取り組み・提出状況(50%)  
② 約束事項遵守状況(50%)

教員の研究分野…運動生理学、運動生化学、体力学

募集人員…①4月初回の授業欠席者は、一般学生・スポーツ推薦入学者共に履修を許可しない。

②一般学生は、1年生:10~15名、2年生:10~15名、合計20~30名の予定。

③スポーツ推薦入学者は、一般学生と別枠で受け入れる予定。但し、覇気がなく目的意識のない者、約束事項を守れない者には単位を認定しない。

募集方法…4月初回授業で「ゼミ実施要項」を配付し、入室希望の一般学生には「入室希望調書」を記入・提出してもらおう。正式な受講予定者は「入室希望調書」の内容を精査して決定し、発表する。発表の方法は、初回授業時に連絡する。

一般学生で入室が決定した場合、履修キャンセルは遠慮してもらいたい。また、ゼミ合宿に参加できることを前提とする。

スポーツ推薦の学生は、入室の決定後にウェブ履修登録での「本登録」を必ず行うこと。手続き不備で入室できなくなった場合は、全て自己責任とする。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：町づくりを考えてみよう**

**授業内容・授業到達目標：**

人は互いに支えあって生きているという見地から自分と社会の関わりを考え、各自の将来のフィールドで主体性を持ち能動的に提案・行動できるような姿勢を学びます。日本のグローバル化に伴う合理化によって、日本の原風景とともに日本人の心が失われつつある今日、行政や行政区画とは関係なく存在してきた伝統的・歴史的な文化や風習を守り、住みよい地域社会を実現するためには何ができるかという問題を考えます。地域に根ざす風土は地域のアイデンティティとも言えますが、それは、伝統的・歴史的な文化に裏打ちされた、地域を支える精神となっていることが少なくありません。しかし、経済効果を優先した一極集中型の大都市の肥大化により、これらの地域は大都市に融合し、その一部としての機能を持つようになります。それは「発展」という言葉で包括されることですが、その地域の持つ美しい個性、伝統、地域の文化に根ざした産業、町の美しい景観までもが失われ、人々の守り伝えてきた精神性も失われてきたと言えるでしょう。これらはグローバリズムがもたらした悲劇です。この面に焦点を当て、町づくりという観点から空間のデザイン、地域と地域住民を繋ぐ精神的アイデンティティ、地域の求心力となるものの重要性を考え、自らが所属している地域や好きな街の特色、行政、NPO活動などに目を向け発表してもらいます。そして理論から実際の現実へと目を向け、次世代を築く責任が自らにもあるという姿勢を忘れずに前向きに日本の未来の社会のあり方を考えていきましょう。

**教科書・使用教材：**

必要に応じてプリントを配布します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

フィールドワークをするので、積極的に自ら考え、行動する学生を歓迎します。

**成績評価方法：**

演習への貢献度50%、発表25%、レポート25%

教員の研究分野…18世紀におけるフライマウレイとヨハン・ヨアヒム・クリストフ・ボーデ（具体的には、フライマウレイの中に、18世紀におけるドイツ社会の共和制や民主主義思想の萌芽、並びに社会を動かす原動力を見る）

募集人員…15名程度

募集方法…アンケートと面接によって選抜

政経教養セミナー投稿 2023年度 有・2024年度 有

**演習テーマ：現代ドイツ政治談議**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習では受講生の皆さんが一年を通じてたくさんの本を読み、活発な議論を行う場を提供したいと思っています。その結果、毎日の読書習慣が自然と身につき、他のゼミ生との自由な語らいを通じて知性が磨かれ、人間性が育まれることを期待しています。

演習のテーマは「現代ドイツ政治談議」としました。教養演習の上述の目的を達成するためなら本来お題目は何でも良いのですが、「座談」に花を咲かせるためにこのテーマを選びました。演習のタイトルに冠した「現代ドイツ」は単なる議論の出発点であり、最初の取っ掛かりに過ぎません。最後にどこに辿り着くかは、それぞれの受講生の興味関心の赴くところによります。「現代ドイツ」とはおよそかけ離れた時代や場所に着地することになっても、それが「政治談議」に触発され、各人が自発的に選び取ったテーマであるならば一向に構いません。研究過程における「寄り道」や「遠回り」はむしろ大歓迎です。

授業前に友人と交わす何気ない「雑談」のひと時も、授業後に語り合う「歓談」のひと時も、「演習」の重要な構成要素の一つです。とはいえ、授業の中でさまざまな意見が飛び交い、「談論風発」することが本演習の本義であり目標です。一つの正しい意見というものがないことを互いに知り、自由と寛容について、つまり教養について考える時間と場所にできればと思っています。

**教科書・使用教材：**

以下の文献は教科書ではなく、参考教材の一例です。それぞれの著者がどのようなスタンスで現代ドイツを見ているかをおさえながら読書する訓練もしていきます。

高野弦：『愛国とナチの間—メルケルのドイツはなぜ躓いたのか』朝日新聞出版、2020年

藤田直央：『ナショナリズムを陶冶する—ドイツから日本への問い』朝日新聞出版、2021年

熊谷徹：『ドイツはなぜ日本を抜き「世界3位」になれたのか』ワニブックス、2024年

川口マーン恵美：『ドイツの失敗に学べ!』ワック、2024年

三好範英：『移民リスク』新潮新書、2025年

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

- ・上述の授業内容の趣旨に賛同できる学生の参加を希望します。
- ・読書、レジュメ作成

**成績評価方法：**

演習への貢献度 50%、授業時の発表内容 50%

教員の研究分野…ドイツ文学

募集人員…7, 8名

募集方法…初回授業時の面談(場合によっては小論文)によって決定する

政経教養セミナー投稿 2023年度 有・2024年度 有



**演習テーマ: ゲームの教育的な可能性について**

**授業内容・授業到達目標:**

この講義では、以下のことについて考える。

- (主の目的) ゲームの教育的可能性
- ゲームや遊びの定義と社会的影響
- 教育の心理学とゲームの関係性

授業外や他学部の学生、それとも学外者(ゲーム開発者や一般人)を招く「ゲームデイ」というイベントに向けて、教育ゲームを開発する参加型学習として展開します。

デジタルゲーム作成やプログラミングの授業ではありません。ボードやカードゲームを開発する授業です。例として、学生は以下のようなプロジェクトを行います。

- SDGsをテーマにしたゲーム
- 英語や外国語のスピーキングの練習が出来るゲーム
- 漢字の部首や熟語が学べるゲーム
- 政治についてわかるゲーム

**教科書・使用教材:**

教科書: なし

使用教材: ワークシートやオンライン・コンテンツを利用します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容:**

- ゲーム歴の高い学生。自分の「ゲームとの付き合い方」についてしっかり考えたことのある学生。
- 授業外でも積極的にプロジェクトに取り組める学生
- 「ゲーム」の種類をスマホゲームやテレビゲームより広く知っておくこと(ボードゲーム、シリアスゲーム、拡張現実ゲームなどについて予習すると良い)。

**成績評価方法:**

作品評価 50%

授業時課題 30%

発表内容 20%

教員の研究分野…ゲーム学習、教育

募集人員…40名

募集方法…第一回の授業で選抜を行います。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無



**演習テーマ：生成AIを活用する**

**授業内容・授業到達目標：**

この授業では、生成AI、特にLLM (Large Language Models: 大規模言語モデル) の学術的利用について学びます。ただ、「学術的」とは言っても、教養演習は大学1年生および2年生を対象とした科目ですから、実際には「学術的利用の初歩」においてChatGPTやGemini・Claude等のLLMを利用する方法を学習します。

LLMはその性能を驚くべき速度で向上させています。現状、LLMの使用はまだ一般的という水準にはありません。しかし、たとえば現在、スマートフォンを使用していないひとが少ないように、LLMもありふれたものになる将来が予想されます。

つまり、今後は大学の学びにおいてもLLMの使用が前提となるはずです。現時点では、LLMの学術的利用方法は未だ確立されたものとはいえません。この演習では、LLMをどのように使用すれば、知的生産に役立つのかを考えていきます。

具体的な授業内容としては、授業を受講する際のサポートツールとしての使用を学びます。たとえば、複数の論文を管理・要約する、データ処理を効率的・効果的に行う、執筆したレポートの質を向上させるといった方法を学びます。

**教科書・使用教材：**

必要に応じて指示します。なお、授業にはノートパソコン(Windows)を必ず持参してください(Macは授業担当者のサポート対象外です)。マシンスペックとしてはストレージ容量はSSDで256GB以上、メモリは8GB以上を目安にしてください。CPUは、2024年以降に発売されたノートパソコンであれば問題ないでしょう。

なお、教室では電源供給ができないため、100分の授業時間に十分な充電状況で臨んでください。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

- ・授業への参加に積極的であること。
- ・半期あたり総授業回数の1/3以上を遅刻または欠席した場合、単位認定の対象としません。
- ・春学期開講の「教養演習A」と秋学期開講の「教養演習B」は、同じ内容です。重複しての履修は認めません。

**成績評価方法：**

- ・発表およびレポート作成…100%

教員の研究分野…日本文学・日本語学

募集人員…10名

募集方法…初回授業に出席すること。受講希望者の多い場合は、筆記試験で選考します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：社会科学スタディーズ入門**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習は、大学で社会科学を学ぶ際に必要な、読む力・書く力・話す力の基礎を身につけることを目標とします。演習テーマが同一のものがいくつかあるので、内容を見て、自分に適していると思われるものを履修してください。この演習では、主に心理学に関するテーマを扱い、社会的な問題について心理学的観点から検討します。

大学で学ぶ学問では、未解決の問題、いくつもの答えがありうる問題、答えのない問題に取り組めます。したがって、受動的に正解を教わるだけでなく、自ら積極的に学ぶ姿勢が求められます。そのためには、まず、学術的な文献を「読む力」が必要です。また、問いを立て、調査し、考え、導き出した見解を、レポートや論文にまとめる「書く力」が必要です。さらに、口頭で報告し、意見を交換し、討論するための「話す力」も必要です。

毎回の演習では、心理学に関する基礎的な文献を読み、レジュメを作成して報告し、討論を行います。また、各自でテーマを設定して文献を調査し、レポートにまとめます。文献の読み方、報告の仕方、レポートの書き方、調査の仕方などについて教員が丁寧に指導するとともに、グループワークを行って学生同士で教えあい学びあいます。こうした活動は、3・4年次の専門演習でより高度な学問に取り組み、卒業論文を作成するための基礎となるでしょう。

**教科書・使用教材：**

授業の際に指示します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

熱意をもって取り組んでください。出席と課題提出は必須です。

**成績評価方法：**

演習への参加・貢献度50% 課題への取り組み50%

教員の研究分野…社会心理学、パーソナリティ心理学、進化心理学  
募集人員…8～12名程度  
募集方法…希望者多数の場合は抽選  
政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：ジェンダーで社会を学ぶ**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習では、「ジェンダー」という概念を学ぶことになります。

ジェンダーという概念は、生物学的（であると仮定された）性別とは分けられた、社会のなかで作り上げられた性差の観念や、性差に基づく人間の理想像（「男らしさ」「女らしさ」）、性差をめぐる観念を通じて組織化された人びとの生活や労働などの営みのあり方を意味する概念です。実は生物学的…とされる性差も、私たちが

そこで、この演習では、ジェンダーという概念を理論的に探究するよりも、現実社会のなかでどのようにこのジェンダーが私たちの認識や言動、私たちが生きる社会のあり方を作り上げてしまっているのかを考えます。政治学や経済学や行政学などを学ぶことになる皆さんが、「ジェンダー」を常に意識して社会や政治を考えるという視点を獲得するようになることを、この演習の目標としています。

この演習では、新書と論文を読み進めていきます。新書とは近年の研究成果などを一般読者向けにわかりやすくコンパクトにまとめた入門的書籍のことです。論文ですが、学術論文をいきなり読むのは大変ですので、この演習では一般読者向けに出版されている総合雑誌（オピニオン誌とも呼ばれる）に掲載された、ジェンダーに関する専門家の論考を読んでいます。高校までの教科書的な書籍から、大学で読むべき学術論文のあいだの、橋渡しの文献を読み進めていきます。人文社会科学的な文章に慣れ親しんでいくことも、この演習の目的としています。

**教科書・使用教材：**

- ・三浦まり『さらば、男性政治』岩波新書、2022年

この教科書は、必ず購入してください。それ以外は、雑誌『世界』などに掲載された論考を読み進めますが、こちらは購入しなくてもコピーをとれば大丈夫です。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

毎回、事前にテキストを読んで参加してもらいます。また、毎回、参加者の1人に内容を要約して発表してもらいます（学期中、最低1回はこの報告を担当することになります）。

当日は、積極的に発言することをこころがけてください。

**成績評価方法：**

- ・テキスト内容の発表 30%
- ・ディスカッションへの参加と貢献 70%

教員の研究分野…アメリカ社会史、ジェンダー史

募集人員…10名+ $\alpha$ 程度

募集方法…応募者多数の場合、Oh-o! Meijiのアンケート機能を使用し選抜を行う

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

演習テーマ：アメリカ合衆国の社会・文化について考える

授業内容・授業到達目標：

ゼミナールの到達目標は以下の3点である。1) アメリカ合衆国における多種多様な社会のありかた、文化的な対立や差別や格差の構造や、社会正義に向けたさまざまな営みに関する知識を深める。2) 知的好奇心と批判精神をもち、社会や政治経済問題を見つめ、考える姿勢を身につける。3) 教室におけるプレゼンテーションや、ディスカッションへの参加を通じて、コミュニケーション能力の向上を図る。

アメリカは広大な国土を有し、多様な地理空間で育まれる文化はもちろん、そこに住む人びとも多様だ。侵略と虐殺を経験しながらも生き延びてきた先住民族、奴隷制度の歴史を歩んだ黒人、世界中から夢を抱きやってくる移民とその子孫が生きるアメリカは、人種差別や格差の問題を抱えつつも、魅力にあふれている。

2024年の大統領選挙では、ドナルド・トランプが再選を果たした。背景には、政治や経済情勢に対する人々の不安や不満の鬱積がある。いっぽうで、特定の人種や移民に対して差別的な発言、他国の主権を脅かすような主張を繰り返すトランプ氏に対して、強い忌避感をもつ人たちも多い。こうした「分断」の背景には、「偉大な国」を標榜する同国の歴史に内在する、さまざまな矛盾や葛藤が存在する。

本ゼミナールではアメリカ合衆国の歴史をクリティカルな視点から分析する教科書を参照し、関連動画やドキュメンタリーを鑑賞しながら、同国の社会、文化について、皆で考えていきたい。

教科書・使用教材：

兼子歩・貴堂義之編著『「ヘイト」の時代のアメリカ史 ― 人種・民族・国籍を考える』彩流社、2017年。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

課題文献の各章をしっかりと読み、ディスカッションに備えること。担当回については、パワーポイント・プレゼンテーションを用意すること。

成績評価方法：

授業参加・貢献度	20%
プレゼンテーション	30%
最終レポート	50%

教員の研究分野…地域研究（アメリカ合衆国）・人文地理学

募集人員…10～12名

募集方法…初回授業時に簡単なエッセイを書いてもらい、これによって判断する。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：世界のニュースを英語で読み、日本語で語る**

**授業内容・授業到達目標：**

演習では、日本と世界における政治、経済、社会問題について英語のニュース記事を読み、内容を深く分析し、日本語で語ります。授業のメンバーは、少人数グループに分けられ、各グループは順番に記事を選択し、その記事について詳しく調べ、レジュメを作成し、そして授業でプレゼンテーションを行い、ディスカッションを主導します。海外のメディアを読むことで、英語力を高めるだけでなく、日本国内のメディアと違う観点から日本や世界の情勢を見ることができます。

授業の目標は次のとおりです：

- ・ 海外のメディアを通し、日本と世界の政治、経済、社会問題を学ぶことができ、さらに議論することで、知識や視野を広げる
- ・ 英語の高度な読解スキルを上達させる
- ・ グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションなどで経験を積んで、貴重な学習スキルを育てる

**教科書・使用教材：**

特になし。適宜必要な資料は全てOh-o! Meiji 上で配布します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

以下のような学生の受講を歓迎します。

- (1) 日本と世界の時事問題に強い関心を持っている学生
- (2) 英語のスキルを向上させたい学生
- (3) 他の学生と協力し、積極的にプレゼンやディスカッションする学生

**成績評価方法：**

授業への貢献度 50%

予習課題 30%

プレゼンテーション 20%

教員の研究分野…近・現代日本政治外交史

募集人員…15 人程度

募集方法…希望者が多い場合は、アンケートで履修者を選抜します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：メディアの仕組みとその役割**

**授業内容・授業到達目標：**

日本および海外のメディア組織の概要と、インターネット・AI時代への急速な移行に伴うメディアの課題について研究します。日本の新聞社、テレビ局の歴史と世論形成における影響力について検討し日本の報道機関の取材に関する課題を調べます。悪質なナショナリズムやポピュリズム、政治の劣化もメディアに部分的に責任があると指摘されていますが、このような批判の妥当性を検証し、健全な民主主義社会のためにメディアが果たすべき役割について議論します。またウクライナ戦争やガザ戦争とメディアの関係について研究します。

それぞれが選んだテーマで春学期後半には研究成果を発表してもらいます。

**授業到達目標：**

- 1 日本のマスメディアについて総合的に理解する。
- 2 メディアと世論の関係について知る。
- 3 インターネット・AI時代における主要報道機関の役割について学ぶ。
- 4 メディアの問題について研究し発表する。

**教科書・使用教材：**

特になし。適宜必要な資料を授業で提示します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

自分で関心を持ったテーマを深く調べ、発表するよう心掛けてください。授業中は積極的に発言し自分の意見を述べてください。

**成績評価方法：**

学期末発表50%、授業時の発言50%

教員の研究分野…メディア論、国際政治、アメリカ研究、中東研究、経済安全保障  
募集人員…10人程度  
募集方法…応募者が多い場合は選抜試験をします  
政経教養セミナー投稿 2023年度・2024年度 無



**演習テーマ：サッカーを考え尽くす**

**授業内容・授業到達目標：**

サッカーを考えるとどういうことか。たぶんこのゼミを希望する人の大半は高校まで、あるいは中学までサッカーを実際にプレーしてきた人が多いだろう。サッカーをプレーする以外に、サッカーについて考える道は無数にある。サッカーについて考えることはそのまま、社会について考えることにもつながっている。ネガティブな面で言えば、サッカー場では人種差別の火が消えたことがない。それはなぜなのか、なくすためにどんな努力が必要か、など考えるべきことは山ほどある。あるいはJリーグにしか関心がない人もいるだろう。まったくそれで構わない。プレミア・リーグばかり観ている人もいるだろう。それでまったく構わない。アーセナルしか、あるいはアルテタにしか興味がない、という人もいるだろう。それでOKだ。ダメなのは、サッカーを愛しているのに、性差別主義者だったり、無意識のうちに誰かを虐げる側に加担していることだ。そのためには、サッカーをいろんな角度から観る必要があると思う。

今年度は、春学期も秋学期もサッカーの大きなイベントがない。いわば谷間の年である。したがって、半期ずつ学生を募集することにした。このゼミとしては初めてだが、半期ずつの募集となる。学生は、自分のもっとも関心を持つ領域について、一回、プレゼンすることになる、と考えてください。

**教科書・使用教材：**

特になし。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

初回に希望者に集まってもらいます。多すぎる場合には選抜しますが、この数年、だいたい20名前後なので、選抜をせずに済んでいます。

春学期開講の「教養演習A」と秋学期開講の「教養演習B」は、同じ内容です。重複しての履修は認めません。

**成績評価方法：**

春学期と秋学期、それぞれ、一回ずつ、各自に発表してもらいます。内容は話し合いで決めます。

教員の研究分野…フランス文化論

募集人員…春学期、秋学期それぞれ、10～15人前後

募集方法…希望者が多ければ、小論文を書いてもらって選抜します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

## 演習テーマ：『英語漬け、最新学習法習得とイベントを通して留学に備えよう！！』

## 授業内容・授業到達目標：

集中的に「英語基礎体力」を身につけ、仲間と楽しく且つハードに英語漬けの毎日を送り留学に備えたい、そして将来グローバルなプロジェクトに関わりたい人のためのゼミです。All Englishの環境で、グループワークなどを介して、最新の脳科学の成果などに基づいたウェルビーイングと効果的学習方法の知識を英語で学び、それを実践、さらに課題やイベント等を通して、英語漬け状態をキープすることで、長期留学に必要な語学力、対応力、効果的学習スキルを身につけることが目標です。

具体的には、マインドフルネスなどの実践に加え、各自が選ぶオンライン記事や本の英文レポート、TED.comなどについてのコメント等の課題、それらについての学生同士によるクイズゲーム、ディスカッションやプレゼンなどを通して教え合い、効果的にコミュニケーション力とアカデミック・スキルを向上させます。

また、ACEの履修生同士、そして卒業生との交流会などのイベントの企画開催、合宿などを通じ、広報等の経験を積み、協働プロジェクト遂行能力を高められると共に、留学経験のあるACE／森本教養演習の先輩、国内外でグローバルな仕事に従事する卒業生などとの交流の機会を得ることができます。

13～24年度のゼミ生を例にとると、すでに多くの方が中期～長期の留学(人によっては複数回、大学院を含む)を実現しています。より細かい授業内容などについては初回授業で説明します。

## 履修上の注意：

この授業は指定された教室において、Zoomを使用して開講\*されます。特に次の点に留意した上で履修してください。

- ・履修者が各自でPCとヘッドセット、またはイヤホン（マイク付き）を準備すること。
- ・指定された教室以外での受講は不可であること。

なお、リアルタイムZoomによる授業であることを配慮し、授業中体を動かす、あるいは休憩の時間を設けます。

授業は1学期で完結しますが、秋学期も継続して履修することを強くお勧めします。

また、このクラスを履修する方は、必ず他のACE授業（特にACE General Communication Skills とACE Academic Trainingのいずれか）も履修するようにしてください。

他に、グローバルキャリア形成（GCD）プログラム、留学準備講座、サポーターズ、トップスクールセミナー、ACEの学生／卒業生などが主催する各種イベント／勉強会、学部間共通外国語科目の夏期、春期の集中英会話講座、政治経済学部、明治大学主催、あるいは外部の海外留学プログラム、交換留学プログラム、学内外の学会、プレゼンテーション・コンテストなど（その内容によっては、このゼミのプロジェクトの一部として認める場合もあります）に積極的に参加することを強くお勧めします。

- ・授業で使用するZoomミーティングID：

<https://zoom.us/j/92299105901?pwd=OUUrVVgySDZoNUVUbTlTajl3TCs4dz09>

ミーティングID: 922 9910 5901

パスワードを設定する: 082980

・森本Emailアドレス（問合せ用）: yokomoriyoto2012@gmail.com（必ずメールの表題に木5教養演習、学年、受講生名を明記してください。例：木5教養演習 1年明治花子）

\*この授業は、授業担当者の難病による障害に対する合理的配慮の一環として、特別にZoomでのリアルタイム授業が設定されています。将来、Zoomによる国際会議やビジネスミーティング等に参加する機会も増えていくと考えられるため、Zoomの長所を最大限に活かして、対面でもオンラインでも自信を持って英語でコミュニケーションできる力を養っていくことを本授業の目標のひとつとしています。

授業はオンラインの形態をとっていますが、24年度においては、自主合宿や懇談会なども開催されています。

## 教科書・使用教材：

Study Skills for College English 2nd Edition（慶應義塾大学経済学部英語部会編著 定価 ¥1,100）ほか、主にオンライン上の記事やTED.com等のプレゼンテーション、映像、書籍など。

## 参考図書：

Go Wild. John Ratey and Richard Manning. 2015. ¥1,904

Brain Rules. John Medina, 2014. ¥1,609

Before Happiness. Shawn Achor, 2013. ¥1,904

Presentation Zen, 3rd Ed. Garr Reynolds, 2019. ¥5,907

## 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

「この1年間、英語力を飛躍的に伸ばし、近い将来に留学する」、という明確な目標を持ち、日々の努力を惜しまない人、学年、年齢にかかわらず、自ら率先してリーダーシップをとり、他者との共同作業を楽しめる人、を求めます。より集中的な英語学習環境を整えるために、ACE科目、留学準備講座、あるいはトップスクールセミナー等を他にもできれば2コマ以上、最低でも各学期1コマは履修してください。出来る限り春学期、秋学期続けてこの演習を履修してください。すでに留学経験のある方も大歓迎です。

学部の留学生サポーター制度（例年4月中旬に募集）や海外留学プログラムにも、積極的に参加してください。

仲間と切磋琢磨しお互いをサポートしながら自主的にACE/英語関連のイベントを計画、実行し、かつそのクリエイティブな過程や、このゼミ、そして卒業生を含むACEのコミュニティ全体の中で濃厚な人間関係を育みたい人の受講を歓迎します！このような経験は、将来の留学、グローバルなプロジェクト等を推し進める際にもきっと役立っていくことでしょう。イベントの多くは週末になるので、その準備も含め、スケジュールの調整が必要になりますので注意してください。また、木曜6限前半の時間帯にも準備作業等が入ることも多いので、できる限りあけておいてください。週末等のイベント、授業時間外の準備作業に支障のないスケジュール管理ができることが必須です。

## 成績評価方法：

演習への貢献度：40%（特別な事情を除き、半期3回以上欠席または大幅な遅刻や早退をした場合は原則として単位は認定されない。全てのゼミイベント等への参加を含む。）

Posts, reports and other written assignments: 30%（すべての課題を完了／提出しなければ単位は認定されない。）

Presentations and other oral outputs: 30%

**教員の研究分野**…英語教授法。脳科学、ポジティブ心理学等を基礎としたウェルビーイングの知見を生かした語学学習・教授法。プレゼンテーション指導法。演劇、多読、多視聴による自律的外国語学習とその支援。

**募集人員**…8名程度

**募集方法**…TOEIC 520点以上、ACE科目、留学準備講座、あるいはトップスクールセミナーに秋学期に少なくとも1コマ履修登録していることが最低条件です。初回授業にTOEIC、TOEFL、IELTS、英検等のスコア、ACE履修申し込みのエントリーシートのコピー、そして個人の時間割（その時点のもの）を持参し、ファイル、あるいは写メなどで提出できるように用意しておいてください。このシラバスの内容を熟読して初回授業に臨んでください。英語と日本語の面接等を経て、受講者を決定します。

**政経教養セミナー投稿** 2023年度 無・2024年度 無

演習テーマ：中勘助と宮沢賢治の作品を「抵抗としての児童文学」として読む

授業内容：

中勘助と宮沢賢治の作品を「抵抗としての児童文学」という新たな観点から通読します。

日本の大正期から昭和初期までの児童文学を考えますと、理想主義や向日性及び結末の分かりやすさが、本質的な特徴として挙げられ、その代表は『赤い鳥』（1918—1936、鈴木三重吉主宰）に発表された作品群です。その同時代に発表された中勘助の自伝的小説「銀の匙」及び「銀河鉄道の夜」など宮沢賢治の作品を確認すると、「豊かな感受性に裏付けられた詩的想像力」、「宗教思想に基づく高い道徳性」、「アニミズム的自然観」、「オノマトペ多用」といった既成評価にとどまらない、社会への抵抗が見えてきます。それらは「人間、特に人間の大人は、子供や動物、植物よりも劣るのではないか」、「生命の尊厳とは」、「都会よりも農村の方が文化的に豊かではないか」、「社会批判とユーモアは表裏一体ではないか」という疑問となって表現されます。『赤い鳥』が都会の中産階級の保護者から地方の教育者へと読者層を広げたことに伴い、子供の文化も都会から地方へ流れていった時代に、標準語よりも方言、人間よりも動物や植物の存在を重要視する、生命を宇宙から発生し宇宙へ還元されるものとして捉える、といった価値観が両者の児童文学に表現された意味を一緒に考えましょう。

授業到達目標：

中勘助及び宮沢賢治の作品（『銀の匙』、『銀河鉄道の夜』等）を通読し、口頭発表、質疑応答、レジュメ作成の技術を修得します。

教科書・使用教材：

中勘助『銀の匙』岩波文庫。宮沢賢治『銀河鉄道の夜』岩波文庫。その他の作品に関する資料は授業内でプリントを配付します。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

口頭発表以外にもブッククラブ方式で作品を読む際やフィールドワークの際に積極的に活動に参加することを望みます。普段から読書する習慣をもっていると良いでしょう。

成績評価方法：

- ・口頭発表時のパフォーマンス・レジュメ等40%
- ・各回授業時に提出する他者発表評価シート30%
- ・授業終了時（14回目）提出のミニレポート30% 以上の総合評価。

教員の研究分野…近代日本の文学・文化

募集人員…10名程度

募集方法…希望者多数の場合は初回に個人面接

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：演劇を介してコミュニケーション力を向上させよう**

**授業内容・授業到達目標：**

ITが発展すればするほど、私たちの人間性は退化しているようだ。インターネットの普及により、自分の言葉や身振りで表す感情の役割を絵文字が果たすようになってきた。合理的な感情しか体験できなくなった現代人は、絵文字に自分の感情を任せてしまうことで、自分の感情は愚か、他者の感情も理解し難くなってしまった。また、本来感情(emotion)とは動き・行動(motion)を伴うものであるはずなのに、ヴァーチャルな媒体に気持ちを任せてしまうと、感情を行動にうつせなくなる。さらには、過剰なルッキズム指向により、本来の自分と素直に向き合えなくなってきている者もいる。この演習では、演劇やパフォーマンスがこれまでも他者理解に用いられてきたことに着目し、創造したり演じたりすることで、自分や他者の理解を深め、自分を取り巻く環境について身体表現を通して見つめ直し、コミュニケーション力を向上させることを目的とする。授業はワークショップ形式で実施する。シアターゲーム、即興、身体を使ったエクササイズからはじめ、受講者同士の緊張を解き、安全な場作りを試みる。次に、リラックスしながら集中し、想像力を高めていくような演劇的エクササイズへと発展させ、徐々に創作のプロセスへと入っていく。創作のテーマは受講者とコンセンサスをえて決め、成果は最終的に発表(非公開)という形で締めくくりたい。

**教科書・使用教材：**

プリント

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

身体や五感、想像力・創造力を使って学んでいくため、自分の身の回りで起きていること、自分のうちで起きていることに敏感であってほしい。また、授業中に提示された参考文献や参考資料は必ず目を通すとともに、課題には情熱をもって取り組んでほしい。

**成績評価方法：**

授業への参加度(50%)、成果発表(50%)

教員の研究分野…スペイン語圏文学・演劇

募集人員…10名

募集方法…受講希望者は仮登録を行なった上で必ず初回に参加してください。希望者が多い場合は、簡単なエッセイの執筆および面接で選考。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：社会科学スタディーズ入門**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習は、大学で社会科学を学ぶ際に必要な、読む力・書く力・話す力の基礎を身につけることを目標とします。演習テーマが同一のものがいくつかあるので、内容を見て、自分に適していると思われるものを履修してください。この演習では、主に政治学に関するテーマを扱い、現在、政治の世界で問題になっている話題を取り上げます。

大学で学ぶ学問では、未解決の問題、いくつもの答えがありうる問題、答えのない問題に取り組めます。したがって、受動的に正解を教わるだけでなく、自ら積極的に学ぶ姿勢が求められます。そのためには、まず、学術的な文献を「読む力」が必要です。また、問いを立て、調査し、考え、導き出した見解を、レポートや論文にまとめる「書く力」が必要です。さらに、口頭で報告し、意見を交換し、討論するための「話す力」も必要です。

毎回の演習では、政治学に関する基礎的な文献を読み、レジュメを作成して報告し、討論を行います。また、各自でテーマを設定して文献を調査し、レポートにまとめます。文献の読み方、報告の仕方、レポートの書き方、調査の仕方などについて教員が丁寧に指導するとともに、グループワークを行って学生同士で教えあい学びあいます。こうした活動は、3・4年次の専門演習でより高度な学問に取り組み、卒業論文を作成するための基礎となるでしょう。

**教科書・使用教材：**

授業の際に指示します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

熱意をもって取り組んでください。出席と課題提出は必須です。

**成績評価方法：**

演習への参加・貢献度50% 課題への取り組み50%

教員の研究分野…日本政治思想史、江戸時代の政治思想、言語研究と政治思想の関係  
募集人員…10～15名程度  
募集方法…希望者多数の場合は抽選  
政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無



**演習テーマ: デジタルゲーム制作を通して、プログラミングの基礎を学ぼう**

**授業内容・授業到達目標:**

この演習では、プログラミング・アート・音楽・ゲームロジックを通じて、デジタルゲーム制作を一から学びます。ゲーム開発を楽しみながら、創造力を高め、チームで協力して作品を作り上げる体験ができます。ゲーム制作を通じて以下のスキルを習得します。

- 1) 想像力: 自分のアイデアをゲームという形にし、他の学生と意見を交換しながら創造性を広げます。
- 2) プログラミング基礎: プログラミングを学び、ゲーム開発に必要な基礎知識を身につけます。
- 3) デジタルアート & 音楽: ゲームに個性を加えるデザインやサウンド制作にも挑戦します。
- 4) 英語スキル: ゲーム制作は国際的なコミュニティとのつながりが重要。英語の教材やオンラインリソースを活用しながら、英語力も高めます。

**教科書・使用教材:**

教科書: なし

使用教材: ワークシートやオンライン・コンテンツを利用します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容:**

- ゲームデザインに興味があること
- パソコンを持参し、基本的な操作ができること (ICTベーシックの履修を推奨)
- 英語の教材やオンラインコミュニティに積極的に取り組む意欲があること
- 初回授業で面接を実施し、参加者を選抜します

**成績評価方法:**

- 作品評価: 50% (最終的なゲームの完成度)
- 授業内課題: 30% (日々の努力と進捗)
- 発表内容: 20% (制作したゲームのプレゼンテーション)

教員の研究分野…ゲーム学習、教育

募集人員…20名

募集方法…第一回の授業で選抜を行います。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無



### 演習テーマ：生成AIを活用する

#### 授業内容・授業到達目標：

この授業では、生成AI、特にLLM (Large Language Models: 大規模言語モデル) の学術的利用について学びます。ただ、「学術的」とは言っても、教養演習は大学1年生および2年生を対象とした科目ですから、実際には「学術的利用の初歩」においてChatGPTやGemini・Claude等のLLMを利用する方法を学習します。

LLMはその性能を驚くべき速度で向上させています。現状、LLMの使用はまだ一般的という水準にはありません。しかし、たとえば現在、スマートフォンを使用していないひとが少ないように、LLMもありふれたものになる将来が予想されます。

つまり、今後は大学の学びにおいてもLLMの使用が前提となるはずです。現時点では、LLMの学術的利用方法は未だ確立されたものとはいえません。この演習では、LLMをどのように使用すれば、知的生産に役立つのかを考えていきます。

具体的な授業内容としては、授業を受講する際のサポートツールとしての使用を学びます。たとえば、複数の論文を管理・要約する、データ処理を効率的・効果的に行う、執筆したレポートの質を向上させるといった方法を学びます。

#### 教科書・使用教材：

必要に応じて指示します。なお、授業にはノートパソコン(Windows)を必ず持参してください(Macは授業担当者のサポート対象外です)。マシンスペックとしてはストレージ容量はSSDで256GB以上、メモリは8GB以上を目安にしてください。CPUは、2024年以降に発売されたノートパソコンであれば問題ないでしょう。

なお、教室では電源供給ができないため、100分の授業時間に十分な充電状況で臨んでください。

#### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

- ・授業への参加に積極的であること。
- ・半期あたり総授業回数の1/3以上を遅刻または欠席した場合、単位認定の対象としません。
- ・春学期開講の「教養演習A」と秋学期開講の「教養演習B」は、同じ内容です。重複しての履修は認めません。

#### 成績評価方法：

発表およびレポート作成…100%

教員の研究分野…日本文学・日本語学

募集人員…10名

募集方法…初回授業に出席すること。受講希望者の多い場合は、筆記試験で選考します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：現代アメリカを考える**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習では、現代アメリカの政治と社会を考えます。2024年11月の大統領選挙では、ドナルド・トランプが2度目の当選を果たしましたが、それはいったいなぜなのでしょう。その背景には、政治や社会、メディアや文化のどのような歴史的变化があったのでしょうか。

しばしばアメリカ政治は「分断」や「極化」で語られる傾向がありますが、その分断や極化の実態とはどのようなもので、いったいなぜ、何が争われているのでしょうか。歴史的には、どのような背景や経緯があって、今のアメリカのような状況が生まれているのでしょうか。

2024年選挙の結果を受けてアメリカの政治や歴史、経済を専門とする教員が執筆した教科書と、一般向けの総合雑誌（オピニオン誌とも呼ぶことがある）に掲載された現代アメリカ関連の論考を読み、現代アメリカをさまざまな角度から考えると同時に、日本の政治や社会や経済をあらためて考えてみるための比較の軸を獲得することを、この演習は目的としています。また、高校教科書的な文献から、本格的な学術論文にいたるための橋渡しの文章を読み進めることで、社会科学・人文学的な文章に慣れ親しんでいくことも、この演習は目標としています。

**教科書・使用教材：**

- ・清原聖子ほか編著『アメリカの〈分断〉とは何か(仮)』大学教育出版、2024年

この教科書は、必ず購入してください。それ以外は、必要に応じて雑誌『世界』などに掲載された論考を読み進めますが、こちらは購入しなくてもコピーをとれば大丈夫です。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

毎回、事前にテキストを読んで参加してもらいます。また、毎回、参加者の1人に内容を要約して発表してもらいます（学期中、最低1回はこの報告を担当することになります）。

当日は、積極的に発言することをこころがけてください。

**成績評価方法：**

- ・テキスト内容の発表 30%
- ・ディスカッションへの参加と貢献 70%

教員の研究分野…アメリカ社会史、ジェンダー史

募集人員…10名+ $\alpha$ 程度

募集方法…応募者多数の場合、Oh-o! Meijiのアンケート機能を使用し選抜を行う

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：地域社会を考える意義と手法を学ぶ**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習は、地域について考え、学ぶ際に必要な考え方、読む力・書く力・話す力の基礎を身につけることを目標とします。この演習では、主に政治学・行政学、そして地方自治の視点から、地域について学ぶ意義を考えます。

大学で学ぶ学問では、未解決の問題、いくつもの答えがありうる問題、答えのない問題に取り組みます。地域には、そこで暮らす住民の暮らしがあります。そして、そこには、さまざまな課題があり、それを解決するための知恵が必要です。本ゼミでは、地域とは何かという基本的な問いから始まり、議論しながら、地域についての知見を深めていきます。したがって、受動的に正解を教わるだけでなく、自ら積極的に学ぶ姿勢が求められます。そのためには、まず、学術的な文献を「読む力」が必要です。また、問いを立て、調査し、考え、導き出した見解を、レポートや論文にまとめる「書く力」が必要です。さらに、口頭で報告し、意見を交換し、討論するための「話す力」も必要です。

毎回の演習では、地域を学ぶための基礎的な文献を読み、レジュメを作成して報告し、討論を行います。また、各自でテーマを設定して文献を調査し、レポートにまとめます。文献の読み方、報告の仕方、レポートの書き方、調査の仕方などについて教員が丁寧に指導するとともに、グループワークを行って学生同士で教えあい学びあいます。こうした活動は、3・4年次の専門演習でより高度な学問に取り組み、卒業論文を作成するための基礎となるでしょう。

**教科書・使用教材：**

授業の際に指示します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

担当教員の指導に従い、熱意をもって取り組んでください。

**成績評価方法：**

演習への参加・貢献度70% 課題への取り組み30%

教員の研究分野…政治学・行政学・地方自治論

募集人員…15名程

募集方法…希望者多数の場合は面接によって選考する。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

特任講師 津田 太郎 水曜2時限（秋学期）

担当科目：日本政治史、政治学特殊講義

---

演習テーマ：Reading about Current Issues in English-language Media

授業内容・授業到達目標：

In this course, we will study political and social issues facing Japan, East Asia, and the world by reading a selection of English-language news articles. Students will be asked to do close reading and reflection on the articles, research background information, and discuss the articles both in terms of their content and their use of the English language. Students will take turns selecting their own article, writing an analytical outline, doing a presentation, and leading a discussion.

The goals of this course include:

- Study and discuss complex social and political issues in Japan, East Asia, and the world.
- Develop skills in advanced reading, writing, and discussion in English.
- Acquire valuable experience in research, group work, and presentation for use in academic and professional life

教科書・使用教材：

There is no required textbook. Assigned readings will be announced in class and provided on Oh-o! Meiji.

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

The following types of students are encouraged to attend:

- (1) students with a strong interest in politics and current events in Japan and the world
- (2) students with a desire to improve their reading, writing, and speaking skills in English
- (3) students interested in working with and exchanging ideas with other students

成績評価方法：

Class Participation: 50%

Reading Memos: 30%

Reports/Presentations: 20%

教員の研究分野…Modern and contemporary Japanese political history

募集人員…Up to fifteen students

募集方法…If there are more than fifteen who want to attend, attendees will be selected by a questionnaire or interviews in the first class.

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：サッカーを考え尽くす**

**授業内容・授業到達目標：**

サッカーを考えるとどのようなことか。たぶんこのゼミを希望する人の大半は高校まで、あるいは中学までサッカーを実際にプレーしてきた人が多いだろう。サッカーをプレーする以外に、サッカーについて考える道は無数にある。サッカーについて考えることはそのまま、社会について考えることにもつながっている。ネガティブな面で言えば、サッカー場では人種差別の火が消えたことがない。それはなぜなのか、なくすためにどんな努力が必要か、など考えるべきことは山ほどある。あるいはJリーグにしか関心がない人もいるだろう。まったくそれで構わない。プレミア・リーグばかり観ている人もいるだろう。それでまったく構わない。アーセナルしか、あるいはアルテタにしか興味がない、という人もいるだろう。それでOKだ。ダメなのは、サッカーを愛しているのに、性差別主義者だったり、無意識のうちに誰かを虐げる側に加担していることだ。そのためには、サッカーをいろんな角度から観る必要があると思う。

今年度は、春学期も秋学期もサッカーの大きなイベントがない。いわば谷間の年である。したがって、半期ずつ学生を募集することにした。このゼミとしては初めてだが、半期ずつの募集となる。学生は、自分のもっとも関心を持つ領域について、一回、プレゼンすることになる、と考えてください。

**教科書・使用教材：**

特になし。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

初回に希望者に集まってもらいます。多すぎる場合には選抜しますが、この数年、だいたい20名前後なので、選抜をせずに済んでいます。

春学期開講の「教養演習A」と秋学期開講の「教養演習B」は、同じ内容です。重複しての履修は認めません。

**成績評価方法：**

春学期と秋学期、それぞれ、一回ずつ、各自に発表してもらいます。内容は話し合いで決めます。

教員の研究分野…フランス文化論

募集人員…春学期、秋学期それぞれ、10～15人前後

募集方法…希望者が多ければ、小論文を書いてもらって選抜します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：中東の戦争と平和を考える**

**授業内容・授業到達目標：**

中東といえば「紛争」や「戦争」と想像する人は多いだろう。日本に住む私たちにとって、中東は、メディアを通して映像や言説で広められた戦争のイメージに埋め込まれている、といっ  
てよいかもしれない。「こわい」「わからない」「近づきにくい」という印象を喚起しがちなそれ  
らの「戦争している中東」のイメージの由来や組成をさまざまな角度から解きほぐすことがこ  
の授業の中心的な課題である。

この演習では、宗教紛争についての誤解、欧米のマスメディアやポップカルチャーにある歪曲、  
国際的な力学、「民族問題」など、西アジアを不安定化させる諸要因とされている諸事象につい  
て調べ、考察し、演習としての集合知をつちかいたい。

また、不安定要因とされていることが、むしろ古代から発展してきた豊かな都市文化を反映  
していること、西アジアで暮らす人々の存外明るく楽しい日常生活にも目配りをして、人間性  
を中心にすえて中東を理解し、そのうえで自分たちにどのようなアプローチができるかを一緒  
に話し合い、編み出すことができればと願っている。

演習時間外に学内外で開催されるシンポジウムやイベントを紹介し、それらへの参加を通し  
て理解を深めることも試みたい。

**教科書・使用教材：**

特に指定はしない。授業の中で参考文献を紹介する。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

大学受験レベルの世界史あるいは世界地理の知識があることがのぞましい。

文化論概論を受講していることが望ましいが、していなくても参加可能。

演習は、参加学生によるプレゼンテーションを中心に授業を組み立てるので、自分（たち）が  
ひきうけたトピックに主体的に取り組むこと、授業時間外でも必要な情報をサーチしたり、機  
動的に動いてレポートしたりすることが必要になる。

**成績評価方法：**

演習でのプレゼンなどのパフォーマンス50%、パフォーマンスを受けてのコメントや議論へ  
の貢献度50%

教員の研究分野…西アジア地域研究

募集人員…10名程度

募集方法…初回のゼミに来てもらい、真摯にゼミに参加する意思を確認する

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無



## 演習テーマ：『英語漬け、最新学習法習得とイベントを通して留学に備えよう！！』

## 授業内容・授業到達目標：

集中的に「英語基礎体力」を身につけ、仲間と楽しく且つハードに英語漬けの毎を送り留学に備えたい、そして将来グローバルなプロジェクトに関わりたい人のためのゼミです。All Englishの環境で、グループワークなどを介して、最新の脳科学の成果などに基づいたウェルビーイングと効果的学習方法の知識を英語で学び、それを実践、さらに課題やイベント等を通して、英語漬け状態をキープすることで、長期留学に必要な語学力、対応力、効果的学習スキルを身につけることが目標です。

具体的には、マインドフルネスなどの実践に加え、各自が選ぶオンライン記事や本の英文レポート、TED.comなどについてのコメント等の課題、それらについての学生同士によるクイズゲーム、ディスカッションやプレゼンなどを通して教え合い、効果的にコミュニケーション力とアカデミック・スキルを向上させます。

また、ACEの履修生同士、そして卒業生との交流会などのイベントの企画開催、合宿、学外でのプレゼン等の活動などを通じ、発信、広報等の経験を積み、協働プロジェクト遂行能力を高められると共に、留学経験や国内外でグローバルな職場経験のあるACE／森本教養演習の先輩方（在学生を含む）、などとの交流の機会を得ることができます。

13～24年度のゼミ生を例にとると、すでに多くの方が中期～長期の留学（人によっては複数回、大学院を含む）を実現しています。より細かい授業内容などについては初回授業で説明します。

## 履修上の注意：

この授業は指定された教室において、Zoomを使用して開講\*されます。特に次の点に留意した上で履修してください。

- ・履修者が各自でPCとヘッドセット、またはイヤホン（マイク付き）を準備すること。
- ・指定された教室以外での受講は不可であること。

なお、リアルタイムZoomによる授業であることを配慮し、授業中体を動かす、あるいは休憩の時間を設けます。

授業は1学期で完結しますが、春学期から継続してこの演習を履修することを強くお勧めします。一方、新たに秋学期から履修をする方も歓迎します。

また、このクラスを履修する方は、必ず他のACE授業（特にACE General Communication Skills とACE Academic Trainingのいずれか）も履修するようにしてください。

他に、グローバルキャリア形成（GCD）プログラム、留学準備講座、サポーターズ、トップスクールセミナー、ACEの学生／卒業生などが主催する各種イベント／勉強会、学部間共通外国語科目の夏期、春期の集中英会話講座、政治経済学部、明治大学主催、あるいは外部の海外留学プログラム、交換留学プログラム、学内外の学会、プレゼンテーション・コンテストなど（その内容によっては、このゼミのプロジェクトの一部として認める場合もあります）に積極的に参加することを強くお勧めします。

授業で使用するZoomミーティングID：

<https://zoom.us/j/92299105901?pwd=OUUrVVgySDZoNUVUbTlTajl3TCs4dz09>

ミーティング ID: 922 9910 5901

パスコードを設定する：082980

・森本Emailアドレス（問合せ用）：yokomorimoto2012@gmail.com（必ずメールの表題に木5教養演習、学年、受講生名を明記してください。例：木5教養演習 1年明治花子）

\*この授業は、授業担当者の難病による障害に対する合理的配慮の一環として、特別にZoomでのリアルタイム授業が設定されています。将来、Zoomによる国際会議やビジネスミーティング等に参加する機会も増えていくと考えられるため、Zoomの長所を最大限に活かして、対面でもオンラインでも自信を持って英語でコミュニケーションできる力を養っていくことを本授業の目標のひとつとしています。

授業はオンラインの形態をとっていますが、24年度においては、自主合宿や懇談会なども開催されています。

## 教科書・使用教材：

Study Skills for College English 2nd Edition（慶應義塾大学経済学部英語部会編著 定価 ¥1,100）ほか、主にオンライン上の記事やTED.com等のプレゼンテーション、映像、書籍など。

## 参考図書：

Go Wild, John Ratey and Richard Manning, 2015. ¥1,904

Brain Rules, John Medina, 2014. ¥1,609

Before Happiness, Shawn Achor, 2013. ¥1,904

Presentation Zen, 3rd Ed. Garr Reynolds, 2019. ¥5,907

## 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

「この1年間、英語力を飛躍的に伸ばし、近い将来に留学する」という明確な目標を持ち、日々の努力を惜しまない人、学年、年齢にかかわらず、自ら率先してリーダーシップをとり、他者との共同作業を楽しめる人、を求めます。より集中的な英語学習環境を整えるために、ACE科目、留学準備講座、あるいはトップスクールセミナー等を他にもできれば2コマ以上、最低でも各学期1コマは履修してください。出来る限り春学期、秋学期続けてこの演習を履修してください。すでに留学経験のある方も大歓迎です。

学部の留学生サポーター制度（例年4月中に募集）や海外留学プログラムにも、積極的に参加してください。

仲間と切磋琢磨しお互いをサポートしながら自主的にACE/英語関連のイベントを計画、実行し、かつそのクリエイティブな過程や、このゼミ、そして卒業生を含むACEのコミュニティー全体の中で濃厚な人間関係を育みたい人の受講を歓迎します！このような経験は、将来の留学、グローバルなプロジェクト等を推し進める際にもきっと役立っていくことでしょう。イベントの多くは週末になるので、その準備も含め、スケジュールの調整が必要になりますので注意してください。また、木曜6限前半の時間帯にも準備作業等が入ることも多いので、できる限りあけておいてください。週末等のイベント、授業時間外の準備作業に支障のないスケジュール管理ができることが必須です。

## 成績評価方法：

演習への貢献度：40%（特別な事情を除き、半期3回以上欠席または大幅な遅刻や早退をした場合は原則として単位は認定されない。全てのゼミイベント等への参加を含む。）

Posts, reports and other written assignments: 30%（すべての課題を完了／提出しなければ単位は認定されない。）

Presentations and other oral outputs: 30%

教員の研究分野…英語教授法。脳科学、ポジティブ心理学等を基礎としたウェルビーイングの知見を生かした語学学習・教授法。プレゼンテーション指導法。演劇、多読、多視聴による自律的外国語学習とその支援。

募集人員…8名程度

募集方法…TOEIC 520点以上、ACE科目、留学準備講座、あるいはトップスクールセミナーに秋学期に少なくとも1コマ履修登録していることが最低条件です。初回授業にTOEIC、TOEFL、IELTS、英検等のスコア、ACE履修申し込みのエントリーシートのコピー、そして個人の時間割（その時点のもの）を持参し、ファイル、あるいは写メなどで提出できるように用意しておいてください。このシラバスの内容を熟読して初回授業に臨んでください。英語と日本語の面接等を経て、受講者を決定します。

政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無

**演習テーマ：社会科学スタディーズ入門**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習は、大学で社会科学を学ぶ際に必要な、読む力・書く力・話す力の基礎を身につけることを目標とします。演習テーマが同一のものがいくつかあるので、内容を見て、自分に適していると思われるものを履修してください。この演習では、主に政治学に関するテーマを扱い、政治的な問題について歴史的・思想的観点から検討します

大学で学ぶ学問では、未解決の問題、いくつもの答えがありうる問題、答えのない問題に取り組めます。したがって、受動的に正解を教わるだけでなく、自ら積極的に学ぶ姿勢が求められます。そのためには、まず、学術的な文献を「読む力」が必要です。また、問いを立て、調査し、考え、導き出した見解を、レポートや論文にまとめる「書く力」が必要です。さらに、口頭で報告し、意見を交換し、討論するための「話す力」も必要です。

毎回の演習では、政治学に関する基礎的な文献を読み、レジュメを作成して報告し、討論を行います。また、各自でテーマを設定して文献を調査し、レポートにまとめます。文献の読み方、報告の仕方、レポートの書き方、調査の仕方などについて教員が丁寧に指導するとともに、グループワークを行って学生同士で教えあい学びあいます。こうした活動は、3・4年次の専門演習でより高度な学問に取り組み、卒業論文を作成するための基礎となるでしょう。

**教科書・使用教材：**

授業の際に指示します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

熱意をもって取り組んでください。出席と課題提出は必須です。

**成績評価方法：**

演習への参加・貢献度50% 課題への取り組み50%

教員の研究分野…日本政治思想史、江戸時代の政治思想、言語研究と政治思想の関係  
募集人員…10～15名程度  
募集方法…希望者多数の場合は抽選  
政経教養セミナー投稿 2023年度 無・2024年度 無



